

これで合格！読解問題スピード攻略 必勝テクニック1

2016年度第1回 過去問題 難易度：やや難

(目標時間6分：制限時間8分)

The Serpentine Columbine

本文第1パラグラフ ① The plant known as the serpentine columbine is covered with small hairs, called trichomes, which have sticky tips.
② Insects that land on the hairs get stuck and eventually die of starvation.
③ For many years, the serpentine columbine was a mystery because no one could figure out (1). ④ Unlike carnivorous plants, the serpentine columbine does not obtain nutrition from the prey it catches – the insects simply remain on its surface.

(問題1)

1. how the sticky tips are produced
2. why the plant kills insects
3. how insects avoid it
4. what the trichomes are made of

パラグラフサマリー

サーペンティンコロンバインという植物はトリコムという粘着性の毛状突起で覆われていて、その上にとまった虫は身動きできなくなり餓死する。長い間、誰もこの植物が虫を殺す理由を解明できなかったため、この植物は謎とされていた。食虫植物とは違い獲物から栄養分を得ることはなく、昆虫はそのまま表面に留まるのである。

解説 正解は2

さて最初の空欄はいかがですか。正解を見つけるには第1パラグラフの流れをしっかりと把握しましょう。まず①・②でこの植物の特徴と昆虫の捕獲方法が述べられ、そして空欄のある③ではその植物に関しては誰にもわからない謎があるとされますが、それは具体的に④で言及されており、「この植物は食虫植物とは違い、獲物から栄養分を得ることはなく、虫はそのまま表面に留まる」という文脈に合う選択肢を選ぶ必要があります。つまりサーペンティンコロンバインが獲物から栄養分を摂らないのに昆虫を殺してしまう理由が説明されていないことがわかります。このことから正解は選択肢2番です。

必勝攻略法：前後の文脈を見抜く！

第2パラグラフ ① The puzzle seems to have been solved by Eric LoPresti of the University of California, Davis. ② His research showed the serpentine columbine is (2). ③ A caterpillar called *Heliothis phloxiphaga* eats serpentine columbine leaves and is not trapped by the trichomes. ④ LoPresti found that the leaves were twice as likely to be eaten by the caterpillars if the trapped bugs were removed from the plant. ⑤ He believes the dead insects attract predators such as spiders, which then eat the caterpillars.

(問題2)

1. giving a warning to other plants
2. providing food for other plants
3. spreading its seeds
4. trying to defend itself

パラグラフサマリー

カリフォルニア大学のエリック・ロプレスティの研究により、その植物は自分を守ろうとしているということがわかった。粘着性のトリコームに引っか

からない毛虫が葉を食べてしまうのだが、もし昆虫が表面にいないと葉は2倍多く食べられてしまうのである。また、昆虫がいるとクモを引き寄せられるので、そのクモが毛虫を食べてくれるのである。

解説 正解は4

さて次の空欄はどうでしょう。この問題は正解できなかった学習者が多くいました。ヒントは③・④・⑤の文脈ですが、エリック氏の研究で何がわかったのでしょうか。つまり③「ヘリオティス・フロクシファという毛虫はこの植物の葉を食べ、トリコームに引っかからない」、④「もし動けなくなった昆虫が葉の上になかったら、葉を食べられる可能性が2倍高くなる」、⑤「死んでいる昆虫はクモを引き寄せ、そのクモが毛虫を食べてくれる」の文脈により、サーペンティンコロンバインは、「昆虫を葉にのせたままにすることで、自分を守っている」ことがわかり、正解として4番を選ぶことができます。この問題の重要なヒントは、空欄部分が「抽象的」な意味で、そこから後の文脈で「具体的な事項」(③・④・⑤)を挙げて説明している流れを理解することです。

必勝攻略法：抽象例から具体例への流れをつかむ！

第3パラグラフ ① Since some carnivorous plants use chemical signals to attract prey, LoPresti wondered whether this was also the case with the serpentine columbine. ② He prepared one set of containers filled with the stems and leaves of serpentine columbines, and another set of containers that were empty. ③ All the containers were covered with a sticky material that hid the contents and would also trap any insects that visited them. ④ After collecting the containers, LoPresti found that those containing pieces of the plant were 21 percent more likely to contain insects. ⑤ (3), it seems that chemicals work together with the trichomes to trap the bugs.

(問題3)

1. For instance
2. In addition to this
3. Therefore
4. Contrary to this

パラグラフサマリー

ある食虫植物は獲物を引き寄せるのに化学シグナルを使うため、ロプレスティはサーペンティンコロンバインにもそれが当てはまるのかと考え、実験をした。彼はその植物が入った容器と全く何も入っていない空の容器を用意し、結局はその植物入りの容器が昆虫を捕らえる可能性が21%高いことがわかり、化学シグナルが作用していることが判明した。

解説 正解は3

最後はどうか。まず選択肢を見るだけで、正解のヒントは空所前後の文脈で決める「**接続型**」と判断できます。では本文を見てみましょう。この第3パラグラフではロプレスティの実験が述べられていますが、最大のヒントは⑤で、結果的には「化学反応が昆虫を寄せつける作用をする」の文脈により、選択肢3番の **therefore** (したがって、それゆえに) を入れると前後の文脈が自然につながります。

必勝攻略法：前後の文脈（順接または逆接）を見抜く！

これで合格！読解問題スピード攻略 必勝テクニック2

2015年度第3回 過去問題 難易度：やや難

(目標時間6分：制限時間8分)

Buying Happiness

本文第1パラグラフ ① Spending money is often a part of the search for happiness. ② Some people purchase objects, such as cars or watches, to make themselves feel good. ③ (1), money can also be spent on experiences, such as taking a vacation or eating an expensive meal. ④ According to research by Ryan Howell of San Francisco State University, even though more people seek happiness by buying material goods, spending money on experiences tends to make people happier.

(問題1)

1. Likewise
2. For example
3. As a result
4. For one thing

パラグラフサマリー

お金を使うことは幸せへの探求の一部で、良い気分になるために車や時計などの物に使う人もいるし、休暇や豪華な食事を楽しむような経験にもお金は使われる。ライアン・ハウウェルの調査によると、より多くの人物が買うことで幸せを求めるが、(実際は) 経験にお金を使った方が人は幸せをより感じやすい傾向がある。

解説 正解は1

さて最初の問題はどうですか。選択肢をチェックすると、空所はその前後の文脈で決める「接続型」と判断できます。この場合は前後の文脈がどのように結びつくのか、その関連性を考えましょう。まず②は「ある人々は気分よく感じるために、車や腕時計などの物を買う」、そして③は「お金はまた、休暇やぜいたくな食事をするような経験にも使われる」となっていて、②と③の関係性を考えた場合、同じような例を追加している「追加パターン」であることがわかります。よって正解 Likewise (同様に) が選べます。

必勝攻略法：前後の文脈（順接または逆接）を見抜く！

第2パラグラフ ① In his study, Howell talked to individuals before and after they made spending decisions about both material goods and life experiences. ② Before spending, most respondents expressed the belief that an experience might be more enjoyable but a new possession would be worth more to them. ③ When they were interviewed again after spending, the respondents' answers generally showed that they (2). ④ The majority reported that life experiences had given them more value for their money. ⑤ According to Howell, since economic value is usually associated with objects rather than memories, it is difficult for people to estimate the value of experiences beforehand.

(問題2)

1. could not come to a conclusion
2. regretted not saving their money
3. had changed their minds
4. had ignored the researcher's advice

パラグラフサマリー

彼は研究で、物と経験とにそれぞれお金を使う前と、使った後に聞き取りを行い、ほとんどの回答者はお金を使う前は、経験も楽しいだろうがやはり新しい物を所有する方に価値があると思表示したが、お金を使った後では考えが変わり、多くは経験の方が金額に見合う以上の価値を与えると答えた。ハウエルは、経済的価値は一般的に記憶よりも具体的な物に関連づけられるので、経験的価値をあらかじめ評価するのは難しいとした。

解説 正解は3

いかがですか。パラグラフの流れが難しかったのではないのでしょうか。ヒントは④「大多数は、経験の方がより多くのお金の価値を与えると答えた」で、このことは②の文脈「お金を使う前では、経験も価値があるとは思いますが、新しく物を所有する方がもっと意味があると答えた」、と異なっていたことに注目しましょう。すなわち、お金を使う前と後では彼らの見解が変化したことがわかります。そのことを把握していないと正解である選択肢3番 (had changed their minds) を選ぶのは難しいでしょう。選択肢2番だと、「お金を貯めなかったことを後悔した」で、後ろの文脈と合いません。必ず空所前後の意味をまずは確認しましょう。ここが甘いと、堂々巡りで正解は選べません。

必勝攻略法：パラグラフ内の対比関係を見抜く！

第3パラグラフ ① The type of purchase alone does not determine how much happiness it brings, however. ② Howell also found that the (3) is strongly related to how much satisfaction people get from their purchases. ③ For example, when people decided to buy an experience based on their personal interests and values, it made them feel better about themselves and more connected to others. ④ On the other hand, when people were motivated to spend money to gain recognition from other people, they reported feeling less satisfaction.

(問題3)

1. reason for making a purchase
2. amount of money spent
3. time spent deciding what to purchase
4. amount of demand for an item

パラグラフサマリー

彼は、何を買うのかということだけではなく、なぜ買うのかという理由自体が人々の満足度に大きく関わることを発見した。例えば、自分の興味や価値観をベースにして経験を買う方がはるかに気分をよくなり、逆に他人から認められたい理由でお金を使った場合の満足度は低い。

解説 正解は1

最後はどうですか。どのようなことが買い物で得る満足度と強い結びつきがあるのでしょうか。ヒントは③からで、このように **For example** (例えば) で始まる文は「前の文脈を具体的に説明する」ので正解の大きな手がかりになります。③・④の文脈を読み取ると、「人は自分の好みや価値観に応じて経験にお金を使う時の方が、他人から評価されようとしてお金を使う時より満足する」ことから、選択肢1番 reason for making a purchase (買い物をする理由) を選べます。すなわち②で「抽象例」を挙げ、③・④で「具体的に説明」しているのです。

必勝攻略法：抽象例から具体例への流れをつかむ！

これで合格！読解問題スピード攻略 必勝テクニック3

2015年度第1回 過去問題 難易度：やや難

(目標時間6分：制限時間8分)

Dam Removal

本文第1パラグラフ ① Of the approximately 85,000 dams in the United States today, only about half are still used to supply water for agriculture or to generate electricity. ② As these dams continue to affect the environment by blocking the movement of fish and preventing them from breeding, a policy of removing the dams has become common. ③ Several decades ago, though, (1). ④ Only recently has the negative impact of dams come to be seen as greater than their economic benefits. ⑤ This shift in opinion has led authorities to approve an increasing number of dam removal projects.

(問題1)

1. such action was more necessary
2. this idea was not considered
3. more dams were being removed
4. new dams were not being built

パラグラフサマリー

アメリカでは現在85,000のダムがあるが使用されているのは約半分ほどであり、環境に悪影響を及ぼすという理由から、ダムを撤去することが一般的になっている。しかし数十年前まではこの考えは考慮されず、最近になってようやくダムの経済効果よりその悪影響の方が上回ると見なされるようになった。

解説 正解は2

さて最初の空所はどうでしょう。時代が移り変わるにつれ、ダム建設がどのように変わってきたのかを把握することがポイントです。この第1パラグラフは現在の状況と過去の傾向を示す記述が混在してわかりにくく正解できなかった学習者が多くいました。③「数十年前は（ 1 ）であったのに」は何が入ればパラグラフがスムーズに流れるのでしょうか。すぐ後の④と、少し戻って②の文脈がヒントです。まず②で、「ダムは環境に影響を与え続けるので、その撤去が一般的になってきた」とあり、④も「最近になってようやくダムのネガティブな影響がその経済効果を上回ることが明らかになった」と記述され、どちらもダム建設には「反対」の見解です。

ここで空欄を含む③の文を見ましょう。though を含んでいますね。この though が大きなヒントです。ここで「～だけれども」という逆接を表す単語が入っているということは、③は②・④の見解の反対、すなわちダムには「賛成」的な文脈であることが判断できます。では、選択肢を見て「ダム建設を肯定する」のはどれでしょうか。選択肢2番 this idea was not considered 「この考えは考慮されていなかった」が正解です。

必勝攻略法：ポジ・ネガで選択肢を絞る！

第2パラグラフ ① In 2009, the U.S. Forest Service decided to remove the Hemlock Dam on Trout Creek in Washington State so the declining fish population could recover. ② (2), however. ③ The dam was blocking large quantities of mud and sand, which had built up over the years. ④ Simply removing the dam would likely have caused this to be carried downstream, killing the fish and other wildlife there. ⑤ Authorities spent years deciding on a solution. ⑥ Finally, pipes were installed to carry the creek's water along a different route, bypassing the dam. As the water level behind the dam fell, trucks carried the sand and mud away and the dam was finally removed.

(問題2)

1. There was a potential danger
2. The dam was not to blame
3. There were few capable workers
4. This was not the only reason

パラグラフサマリー

2009年にヘムロックダムの撤去を決定したが、それには潜在的な危険があった。このダムは長期にわたり大量の泥や砂をせき止めていて、ダムがなくなればこれらが下流に流れ込み、魚や他の野生生物を殺しかねなかった。解決策を決めるのに何年もかかったが、最終的にパイプを使って小川の水を別のルートに沿って運び、トラックが砂や泥を運び出し、ダムは撤去された。

解説 正解は1

こちらはどうか。最初の空欄よりは解きやすかったですか。空所前後の文脈を把握しましょう。まず①で「アメリカ林野局が2009年に、減少する魚の生息数を回復させるためヘムロックダムの撤去を決定した」とあります。第1パラグラフからの流れだと、次の文脈としては環境を悪化させるダムを取り除いたのだから、魚の数が戻ったのかと想像してしまいましたが、②で「しかしながら…」と続いています。③・④を読むと「そのダムは何年にもわたり堆積した泥や砂をせき止めていて、ダムの撤去でそれらは下流に流れ込み、魚や他の生物を殺してしまう」とあります。

この文脈がヒントで、つまりダム撤去の具体的なリスクが次に述べられているので、パラグラフの流れが自然なものを探すと正解である1番 There was a potential danger（それには潜在的な危険があった）が選べるでしょう。すなわち②で「抽象例」を挙げ、③・④で「具体的に説明」している流れを把握しましょう。

必勝攻略法：抽象例から具体例への流れをつかむ！

第3パラグラフ ① The project appears to have been a success. ② Many conservationists praise the results, noting that the number of fish in the creek has been increasing. ③ (3), fish populations can vary so much from year to year that it will be a while before scientists can determine if this trend will continue.

(問題3)

1. Nevertheless 2. In other words
3. Moreover 4. For one thing

パラグラフサマリー

川の魚が増え、その事業は成功したかのように見えるが、しかし魚の数は変動するので、科学者たちがこの傾向が続くかを判断するにはまだしばらく時間がかかるであろう。

解説 正解は1

どうでしたか。最後は比較的解きやすかったかと思います。①・②で「ダム撤去が成功し環境保護者たちも川の魚の数が増えたことを称賛している」とあります。しかし、次に③を読むと、「魚の生息数は年々変動する可能性があるので、科学者たちがこの傾向が続くかを判断するにはまだしばらく時間がかかる」と述べられているのです。前後を結ぶのはどれが一番自然でしょうか。①・②は肯定的、③で「逆接」を表す流れがわかるので選択肢1番 Nevertheless (それでもなお、やはり) が正解となるでしょう。

必勝攻略法：前後の文脈（順接または逆接）を見抜く！

さて皆さん、いかかでしたか。これらの練習を通して攻略法を理解することが、効率よく正解を見つけるのに非常に大切であることがわかっていただけましたか。

ぜひ、このような難問を多く解いてスキルアップに励みましょう。

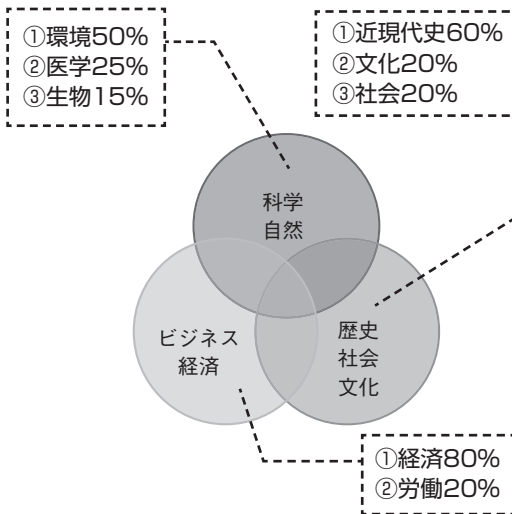
次は「内容一致」問題です。用意はいいですか。

内容一致問題・トピック分析・「歴史・文化」&「科学技術」に関する文章が頻出!

「トピック」比率ランキング

- 第1位「科学・自然」 40%
- 第2位「歴史・社会・文化」 40%
- 第3位「ビジネス・経済」 10%

内容一致問題のサブトピックと出題比率



内容一致問題の頻出トピックは、過去5年間の分析から、**Science & Nature (科学・自然)**、**History, Society & Culture (歴史・社会・文化)**、**Business & Economy (ビジネス・経済)** の分野です。まず、「科学・自然」関連は全体の約4割を占め非常に多く、

その中で再生可能エネルギーや食料問題、リサイクルなどの「環境」トピックが約5割と非常に多く出題されています。次に多いのはハンセン病や天然痘などの伝染病とその解決法などに関する「医学」で約2.5割を占めます。また種の保存や進化など「生物」関連が約1.5割出題されています。内容のレベルは、高校レベルの背景知識で対応できるので、高校の「科学」や「生物」などを勉強

し直すと理解が深まり、正解率が高まります。また、馴染みの薄い動植物に関するトピックが出題される場合があるので、日頃からCNNのサイエンス関連番組や英字新聞の科学関連ニュースに触れることが非常に大切です。

次に「歴史・社会・文化」に関しては、イギリスの産業革命後の歴史やニカラグアを通る運河、ソロモン諸島における戦時中の難破船などに関する「近現代史」が約6割を占めています。次はイギリスの寄宿学校やアメリカの学校システムなどの「社会」関連が約2割、アートの展示や嵐を追う人々などの「文化」関連も約2割出題されています。このような内容に対応するには歴史や国

際問題の背景知識を培うため、やはり英字新聞などで幅広い知識のインプットを心がけ、また世界的に有名な歴史上の人物や出来事に関連した内容も出題されやすいので、大学入試用の「世界史を短時間でマスター」のようなハウツーものを読んでおくのも効果的です。

最後に、「ビジネス・経済」のトピックではブラジルの大農園建設やオートメーション化の影響などの「経済」関連やインターンシップなどの「労働者問題」などが出題されています。また「経済問題」に関連する歴史も出題されやすいと言えるでしょう。

それでは、以下に実際に出題されたトピックを掲載しておきます。

Science & Nature (科学・自然)

- Evolution: Fast or Slow? (進化：速いか、遅いか?)
- Biting Back (かみ返し)
- Small Pox (天然痘)
- Whale and Dolphin Watching (ホエールウォッチングとイルカウォッチング)
- Brown Fat (褐色脂肪)
- Cruise Liners in Venice (ベニスの定期遊覧船)
- Something Sweet (甘いもの)
- The Automated Future (自動化された未来)
- Ash Dieback Disease (トネリコ立ち枯れ病)
- A Super Solution to Energy Demands (エネルギー需要に対する優れた解決策)
- The Gray Invasion (灰色の侵略)
- Computer Junk? (コンピュータのガラクタ?)
- Green Cement (環境に優しいセメント)
- Offshore Fish Farms (沖合の養魚場)
- Brain-Computer Interfaces (脳—コンピュータ間インターフェイス)
- Rebuilding a Rainforest (熱帯雨林の再生)
- Horses of the Desert (砂漠の馬)
- Leprosy and Armadillos (ハンセン病とアルマジロ)

- The Role of Petroleum in Our Lives (我々の生活における石油の役割)
- Is Boxing Too Dangerous? (ボクシングは危険すぎる?)

History, Society & Culture (歴史・社会・文化)

- Bodies on Display (陳列される人体)
- Teach for America (アメリカのために教えよう)
- The War over Antiquities (古代遺品をめぐる戦争)
- Endangered Barns (消えゆく納屋)
- The Inside Story (内幕)
- A Canal through Nicaragua (ニカラグアを通る運河)
- Day of the Sea (海の日)
- Braille vs. Speech (点字対音声)
- The Sa'och Language (サオチ語)
- The U.K. Music Industry (イギリスの音楽産業)
- Summerhill (サマーヒル・スクール)
- Shipwrecks of War (戦時中の難破船)
- Storm Chasers (嵐を追跡する人たち)
- Rethinking the Four-Year College Degree (4年制大学での学位の再考)
- Route 66: A Road with History (国道66号線：歴史ある道路)
- The Amish and Technology (アーミッシュと科学技術)
- The Canada West Atlas (カナダ西部の地図帳)
- The Other Side of Helen Keller (ヘレン・ケラーのもう1つの側面)

Business & Economy (ビジネス・経済)

- Free Labor? (無給労働?)
- Fordlandia (フォードランドディア)
- U.S. Seniors and the Internet (米国の高齢者とインターネット)

合格を決める！内容一致問題スピード攻略法

内容一致問題・質問文分析・問題意識を高め検索読みの態勢を整える

「質問文」比率ランキング

第1位「原因・結果」	35%
第2位「主張・見解」	30%
第3位「例示・例証」	10%
第4位「比較・対照」	5%

内容一致問題は、問題の選択肢を読んで何が問われ何に重点を置いて読めばよいのかを把握することが非常に重要です。実際に出題者の意図は何かを把握するために、最も高い頻度で出題される質問パターン top5 を出題率とともに見ていきましょう。

① 原因・結果（普段から因果関係を意識した読解を訓練しよう！）

事象の「因果関係」を問うパターンは出題率約4割と最頻出です。まず原因については、理由を表す接続詞（since, as, because）が見当たらないケースがあるので、前後関係を意識して読み取ることが必要です。傾向としては、**attention** 「注意」、**controversy** 「議論」、**interest** 「関心」などが発生した「原因」を問う問題が多く、「結果」よりもむしろ「影響」がよく問われており、全体的な流れを読み取る必要があります。

「原因・結果」を問う主な質問文パターン

- What **makes** [promotes, leads to, enables] ～？（原因・背景を問う問題）
- What has been **suggested** [mentioned, referred to] as one cause of ～？（ほのめかされた原因を問う問題）
- What is one **factor** that influences ～？（要因を問う問題）
- What is the **significance** [importance] of ～？/How is ～ important?（意義を問う問題）
- What is the most likely **explanation** for ～？（理由・説明を問う問題）

- On what ~ does it **rest**? (依存対象を問う問題)
- Where did it **originate**? (由来・起原を問う問題)
- What **impact [effect, influence]** does it have on ~? (影響・効果を問う問題)
- How has it **affected** ~? (影響を問う問題)
- What has [have] been the **consequence [outcome, repercussions]** arising from [as a result of] ~? (結果を問う問題)
- What is one **purpose [objective, aim, goal]** of ~? (目的を問う問題)

② 主張・見解（筆者の主張は文章の文尾に見つかることが多い！）

出題率は約3割で、「筆者」や「引用された権威者」の意見に関する問題が2番目に最もよく問われています。この種の問題では、「人名」などから検索するので着眼点は発見しやすいのですが、複数の文にわたってサマリー読みしなければ全体の思想を読み取ることのできないケースが多いと言えます。そこで、筆者の意見と他の権威者の意見は必ずしもイコールではないことに注意しなければなりません。また、前者については例えば「私の考えでは」のような導入表現（tag）がないこと、最終段落において述べられる傾向が強いことも覚えておきましょう。

「主張・見解」を問う主な質問文パターン

- In ~'s argument [According to ~, Based on ~], **he asserts [notes, claims, indicates, makes the points, points out] that ~.** (主張・指摘を問う問題)
- What **conclusion** does he reach concerning ~? (結論を問う問題)
- What **view [argument, opinion, ideal]** does he put forward regarding ~? (見解を問う問題)
- Which of the following best **summarizes [represents] his opinion** ~? (意見要約を問う問題)
- How can the overall **attitude** of ~ best be described? (態度を問う問題)

- What has been one **criticism** levelled at ~? (批判・反論を問う問題)
- **What do we learn [can be said]** about ~? (読み取りを問う問題)
- The guiding **philosophy** of ~ is that ~. (主義を問う問題)

③ 例示・例証（具体例から筆者の意図を問う問題が頻出！）

出題率10%で、具体例とそれから導き出すポイントとの関係を問う難問パターンです。そこで、リーディングの際には、単に例自体を理解するだけではなく、「例を通して言いたいことは何か」を見抜くトレーニングをしましょう。

「例示・例証」を問う主な質問文パターン

- What does he attempt to **show by introducing [including] a(n) example [comment, experiment, observation]** of ~? (例示・例証を問う問題)
- **What becomes clear** based on ~?
- It is **demonstrated [illustrated, characterized]** by ~.
- The **statistics [report, discoveries, research]** found that ~.
- The **case** seems to support the view that ~.
- What is used as a(n) **example [proof, evidence]** of ~?

④ 比較・対照（相違点だけでなく共通点を問う問題もある！）

出題比率は約5%で、意見者間の論理や立場の比較対照をしなければならず、選択肢の微妙な違いも問われる難問タイプだと言えます。**相違点は while, whereas, on the other hand** などのような語で示されていることが多いのですが、共通点を問う問題も時々出題されるので注意しましょう。

「比較・対照」を問う主な質問文パターン

- How does it **compare** to ~? (比較検討を問う問題)

- **Compared with** ～ , **it can be seen** that ～ . (比較してわかることを問う問題)
- In what way do they **differ [diverge]** from ～ ? (相違点を問う問題)
- What can be said of the **two types** of ～ ? (2者の比較を問う問題)
- How has it **changed** since ～ ? (変化・推移を問う問題) ● What does it **have in common** with ～ ? (共通点を問う問題)
- How do they **interpret** ～ **differently**? (解釈の異なりを問う問題)

残りの約2割は、手段・方法、障害、特徴などに関する問題で、(c)は経過説明を見抜くのが少し難しいですが、主に by ～や through ～などで着眼点が表示されている (a) や、キーワードによる検索がしやすい (b) は着眼点が見つかりやすく、他のタイプと比べて解きやすい分類に入りますので、絶対に落とさないようにしましょう。

(a) 手段・方法を問う主な質問文パターン

- How does it **deal with [handle]** ～ ? (対処方法を問う問題)
- What is one **action [solution, approach, step]** to ～ ? (対策を問う問題)
- How was the **discovery** of ～ made? (発見方法を問う問題)

(b) 一長・一短を問う主な質問文パターン

- What is one **challenge [disadvantage, obstacle, drawback, concern]** facing [relating to] ～ ? (問題・欠点・懸念を問う問題)
- What is one **advantage** over ～ ? (利点を問う問題)
- What is one **aspect [feature, characteristic]** of ～ ? (特徴を問う問題)

(c) 「状況・事実」を問う主な質問文パターン

- Which **describes the situation** prior to [when, in, following, immediately after] ～ ? (特定の時期における状況を問う問題)

さて皆さん、いかがでしたか。内容一致問題でどのようなことが問われ、ど

ここに着眼点を置いて読むべきかのイメージがつかめてきたでしょうか。次は選択肢の正誤・誤答分析です。これらのパターンについて熟知しておくことは、問題作成者の意図を瞬時に見抜き、選択肢のわなにはまりにくくなるための最も有効な手段ですから、ぜひしっかりと身につけましょう。

「正解パターン」比率ランキング

- 第1位「サマリー・一般化型」45%
- 第2位「類語言い換え型」35%
- 第3位「行間・裏返し型」20%

英検準1級の内容一致問題をスムーズに解くにあたって、以下のような正解の選択肢の特徴をつかんでおくことが最重要となります。実際には本文の語句がそのまま使用されることはなく、受験者に正解だと気づかせないために非常に巧妙に作ら

れています。これを逆手に取り、パターンを知った上で試験に臨むと臨まないとは大きな差がありますので、ぜひこれらを身につけましょう。

- ① サマリー・一般化型（具体例のkey Idea化型、複数文の要約型）
- ② 類語言い換え型（語句レベルの簡単なパラフレーズ型）
- ③ 行間・裏返し型（類推を含めた行間把握型、視点切り返し型）

まず①は、例えば **deforestation and shrinking natural habitat** 「森林破壊や減少しつつある自然生息地」という具体事例を **ecological disaster** 「生態系破壊」という表現に一般化または抽象化するようなもので、これが理解しにくい人は字面だけ追うのではなく、具体と抽象の距離感をつかむ練習をすることが必要です。より難しい場合では、複数文もしくは1つの段落が要約されているものであり、このような選択肢に対処するには、普段のリーディング学習で段落ごとのメインポイントを30語前後の英語で発信するトレーニングを取り入れるようにしましょう。実際には③との複合型で出題されていることが多く、最も標準的なパターンと言えます。

次に②は、英検準1級では、どの問題においても必ず出題されているので、内容一致問題の最も典型的なパターンと言えます。前述のように、本文の語句が正解の選択肢にそのまま使われることはほとんどなく、別の表現で言い換えられていることを見抜くには、英英辞典はもちろんですが、類語辞典を見たり、類義語をグループ分けしてノートに整理したりしながら、日頃からボキャブルをしてパラフレーズに慣れておく必要があります。

最後に③の行間型は、本文に直接書かれていない内容を推論して解かなければならない超難問パターンだと言えます。この設問では **infer, suggest, imply, indicate** のような「ほのめかす」「示唆する」系の語が使われているのが特徴で、国語力が問われており、**論理の飛躍 (leap in logic)** に気をつけて推し量るようにならなければなりません。また、裏返し型とは、例えば「**当時までの考えは主流ではなかった**」を「**当時からやっとその考えが受け入れられた**」としたりするように**裏返して解釈するパターン**です。

以上が内容一致の正解パターンになりますが、本書ではあえてハイレベルなパターンにも慣れていただくために、以下の難しめの例でトレーニングを積んでいただきたいと思います。

「サマリー・一般化型」の例

- the MBTI has a large problem with consistency; according to some studies, more than half of those who take the test a second time end up with a different rating. Personality tests are inherently flawed, she argues, because “people are complicated. The idea that you can capture someone’s personality in a 20-minute question-and-answer test is absurd.” 「人間は複雑な性格を持っており、回数ごとに性格テストの結果が異なるので、一貫性を持つ性格テストは無駄である。」

正解はこうなる → **Personality tests are not sophisticated enough to capture the real complexity of people’s characters.** 「性格テストは人間の複雑な性格に対応していない。」

- governments organize committees of leading citizens to review and approve proposed designs. 「政府は有力な市民からなる委員会を設置して、提出された切手のデザインを再検討させたり、認可させたりする。」

正解はこうなる → **leading citizens’ opinions can form an important part of stamp design.** 「有力な市民が、切手のデザインの重要な部分を担うことがある。」

- circadian rhythms, which regulate body functions such as temperature control. With increased body temperature, muscles are more flexible, exertion is less, reactions are quicker, and heart rate and blood pressure are lower. 「日周期のリズムは体温調節などの体の機能を管理し、体温が上がると筋肉はより柔軟になったり反応がもっと迅速になったりする。」

正解はこうなる → **circadian rhythms improve the body's flexibility and speed up reactions at certain times of the day.** 「日周期性のリズムは筋肉の柔軟性を改善し、反応速度を高める。」という内容に要約している。

- the Ghanaian immigration authority offers lifetime visas and has made it easier to obtain a Ghanaian passport. 「ガーナ入国管理局が、終身ビザを発行したりパスポートの取得を容易にしたりした。」

正解はこうなる → **Changing immigration laws to allow those of African descent to settle there with less difficulty.** 「アフリカ系の人々が定住しやすいように移民法を改正した。」に抽象化している。

「類語言い換え型」の例

- A mammoth underground bunker, or complex 「巨大な地下の貯蔵庫、または施設」

正解はこうなる → **the existence of an underground shelter**
(bunker (地下壕) を shelter で言い換えている)

- enforcement differs greatly, depending on where, or against whom, it occurs 「執行は場所や対象となる人物により大きく異なる」

正解はこうなる → **actual implementation varies widely**
(enforcement 「執行」を implementation 「施行」に、differ 「異なる」)

を vary 「様々な」に、それぞれ言い換えている)

- Each water molecule has a positively charged and negatively charged pole, so water molecules attract each other, each pole bonding to the oppositely charged pole of another molecule. 「水分子にはプラス極とマイナス極があり、互いを引きつけ合っている。」

正解はこうなる → **Water molecules adhere to each other, so they naturally pull each other through the tree.**

(attract 「引きつける」を pull 「引く」に、bond to 「接着している」を adhere to 「くっつく」に、それぞれ言い換えている)

- Unfortunately, technological limitations mean the robot can only climb at the expense of speed — unlike the gecko, which can climb incredibly quickly. 「技術的な限界があって、自然界のヤモリと同等にはい上がる能力を持つロボットはできない。」

正解はこうなる → **current levels of technology can prevent researchers from producing designs as effective as those found in nature.**

(prevent A from B を使って言い換えている)

- guarantee immediate gains 「すぐに利益になると保証する。」

正解はこうなる → **promise profits in the short term** (guarantee 「保証する」を promise 「約束する」、gains を profits で言い換えている)

「行間・裏返し型」の例

- When the Panama Canal was being planned in the late nineteenth century, scientists were not even aware of the potential peril of species invasions, so there were no concerns about the linking of the Rio

Chagres and Rio Grande rivers, 「科学者たちは種の侵略の潜在的危険性について意識すらしておらず、リオ・チャグレス川とリオ・グランデ川の連結に何ら関心を抱いてなかった。」

正解はこうなる → **scientists did not object to the proposed linking of the Rio Chagres and Rio Grande rivers.**

(「科学者たちは、リオ・チャグレス川とリオ・グランデ川を連結するという計画に反対しなかった。」を読ませる難問タイプ)

- Her thoughts are often expressed with an honesty that she might not have shown if she had been aiming at publication. 「公表するつもりであれば、書かれなかったようなことが正直に語られている。」という遠回しの表現。

正解はこうなる → **She probably never intended to have her journal published.** (「出版は彼女の本来の意図ではなかった。」と裏返している)

- “The best time to work out is late in the afternoon,” says neurologist Dr. Phyllis Zee, because “your muscle strength is at its highest. You’re less likely to injure yourself.” 「午後の運動はケガをしにくい。」

正解はこうなる → **Early morning workouts are more likely to result in injury than afternoon workouts.** (「早朝の運動はケガをしやすい」にして、比較の裏返しをしている)

- In fact, given increasing environmental restrictions and space limitations on the earth’s surface, utilizing underground complexes may end up being an option we cannot afford to ignore. 「地下施設の利用は無視できない方法となるであろう。」

正解はこうなる → **In a world of decreasing space, subsurface facilities could offer a solution for certain kinds of storage needs.**

「地下施設が保管需要の解決策になるかもしれない。」(趣意を読み取らせる問題)

- In the meantime, governments continue to push to have their favorite sites registered. 「今後も様々な国々が、お国自慢の場所を登録するように働きかけるだろう。」

正解はこうなる → **Pressure from various countries makes it likely that new sites will continue to be added.**

(「各国の圧力で新たな場所が登録されていくであろう。」を読み取る問題)

内容一致問題・ディストラクター分析・わなにはまらないための武装手段

選択肢の中でも特にトリッキーなものをディストラクターと言いますが、英検準1級ではこれがとても巧妙に作成されており、本文を丁寧に読んだはずなのに誤答を選んでしまうケースが多く、まさに受験者泣かせの要素だと言えます。よく「本文とよく照らし合わせよう」「ケアレスミスに気をつけよう」と言われますが、これでは単に落ち着きなさいと言われているだけで、本当の意味でディストラクターから身を守ることはできません。以上の点を踏まえて、皆さんにぜひ知っていただきたいディストラクターのトップ3パターンをトリック別にご紹介します。

第1位「すり替え」トリック (Partial Distortion)

第2位「言いすぎ」トリック

(Overstatement / Categorical Statement Trick)

第3位「無言及」トリック (No Reference Trick)

ランキング第1位「すり替え」トリック攻略法

まず「すり替え」トリックは実に全体比率のうち4割以上を占めており、以下のような3タイプに分類できます。

①「語句すり替え」型

選択肢が本文に書かれている内容と異なるように、一部だけが改変されたトリック

こんなトリックには要注意！

例1 : **difficult to predict the effect** 「効果を予測するのは難しい」を **proven effect** 「立証済みの効果」のように形容詞をすり替え、本文と真っ向から矛盾する記述にしたパターン（事実の正反対）ですが、結果としては次に

述べるような「論点のすり替え」に分類される場合もあります。

例2 : Earthworms quickly consume this plant litter. The result is a radical change in the mineral content of the soil, as well as changes to the ecosystem that many plant species are unable to survive.

「ミミズはこの腐植土を食べ尽くしてしまうばかりか、多くの植物種を生存不可能にする生態系へと変化させてしまう。」とありますが、

have destroyed important native species of worm that once lived in the soil. 「かつて土壌に生息していた、重要な在来種の虫を減ぼした」、のように目的語をすり替えた誤答パターン。

さらに、実際は違うのに本文の内容に一致するように錯覚させるトリックもこれに属しており、例えば could not assess its validity as evidence (それは証拠としての正当性がない) を contradicted evidence (証拠と矛盾する) としすり替えたり、他の権威者の意見を筆者の意見に重ね合わせたりするパターンは非常に巧妙なので要注意です。このタイプのものとしては、例えば「死海が干上がっている結果として起きていること」を問う問題で、解答は「The receding waters have left unstable ground that has collapsed, creating 20-meter-deep sinkholes and forcing nearby residents to evacuate their homes.」に表れていますが、誤答の選択肢に Earthquake activity has increased, causing deep holes to develop near the sea. 「地震活動が増しており、死海付近に深い穴を生じさせている。」という、筆者でない別の many observers の意見が加えられている巧妙な問題に注意しなければなりません。

②「論点すり替え」型

言っている内容自体は正しいが、質問内容からずれるトリック

こんなトリックには要注意！

例 : 「ブラジル政府とペルー政府が大陸横断道路を支援している理由」に関する問題で the existing road between the two nations is not only dangerous

and painfully slow but also impassable for several months during the wet season 「2国間をまたぐ現存の道路は危険でひどく時間がかかるだけでなく、雨季には数カ月間通行不能になる」とあるので、because the poor state of the current road makes it an inefficient and risky way to transport goods 「現在の道路の悲惨な状況によって、物資を輸送することが非効率的で危険を伴うものになっているため」と言い換え型正解を選ばなければならないところを、because the present infrastructure is worsening at a faster rate than was previously predicted 「現在のインフラが当初の予想よりも速いペースで劣化しているので」という選択肢のように、dangerous と worsening が関連していると思われるものの、質問に対する答えとしては完全に外れており、話題のすり替えで不十分な理解につけ込むタイプのものがあるので要注意。

③「構文すり替え」型

因果関係や比較構文が用いられた選択肢に多く、実際は因果関係がないのにあると思わせるトリック

こんなトリックには要注意！

例1 : invented prior to the Industrial Revolution 「産業革命以前に開発された」を triggered the Industrial Revolution 「産業革命のきっかけとなった」のように、時間構文を因果構文にすり替えた誤答パターン。

例2 : 「インフルエンザ・ウイルスに関する筆者の結論」を問う問題に対して、「ウイルスが人間に移るための第三者 (third party) が必要である」と述べた後に水鳥の体内を起源とし、豚や馬などの仲介者を経て、人間が感染するという推理が展開していますが、The actual origin of flu virus is more likely to be found in large animals such as pigs and horses. 「インフルエンザ・ウイルスの本当の起源は、豚や馬などの大型動物の体内で見つかる可能性がより高いだろう。」と、実際には比較されていないのに虚偽の比較がされているトリックに注意！

ランキング第2位「言いすぎ」トリック攻略法

「言いすぎ」トリックは、本文の意味をこじつけることで書かれていないことまで大げさに述べるもので、論理の飛躍 (leap in logic) や誇大化 (embellished statement) とも言われます。

こんなトリックには要注意！

例1 : he participated in volunteer activities. 「彼はボランティア活動に参加した。」を his volunteer spirits changed his life. 「ボランティア精神が彼の人生を変えた。」のように**拡大解釈した選択肢は不正解！**

例2 : **all, never, only** などの語を用いた極論で、本文から確証が得られない場合に限り不正解になります。また、「**全体**」「**絶対**」「**皆無**」などの断定的な表現を用いてインパクトを狙うトリックもこれに属します。

ランキング第3位「無言及」トリック攻略法

本文に記述がまったく見当たらないような内容を含ませるトリックで、本文を一通り速読した人なら違和感にすぐ気づけるでしょう。

その他「決まり文句や伝統重視のトリック」型

決まり文句のトリックは、月並みで誰もがよく知っていることをふりかざして不正解の選択肢に説得力を持たせるトリックで、例えば **end up making the same mistakes as their predecessors** 「同じ轍を踏む」、**show the increasing importance of scientific data** 「科学的データの重要性を示す」、**there are winners and losers** 「勝者と敗者が存在する」などのような陳腐な言い回しを含んだディストラクターのことを言います。これは、英検準1級の論説文は新しい考えや問題提起をするものが多いという背景理由に基づきます。伝統重視のトリックは、従来の手法や考え方が最近のものよりもすぐれていると結論づけるトリックですが、実際には「従来では考えられていなかったことが扱われている」という点で「最近のやり方が伝統に勝る」とする正解パターンが主流になっています。

以上が英検準1級の読解問題における回避すべき典型的な誤答パターンですが、英語力よりもむしろ**選択肢を吟味できる注意力や事務処理能力 (clerical skills)**を試すものが多いと言えます。まずはこれらを頭にたたき込んでいただき、のちほどレクチャーでいくつかのパターンを解説していきますので、皆さんもぜひ問題にチャレンジしてください。

これで合格！読解問題スピード攻略 必勝テクニック4

2015年度第1回 過去問題 難易度：やや難

(目標時間10分：制限時間12分)

Bodies on Display

本文第1パラグラフ ① In 1995, the first *Body Worlds* traveling exhibition was met with shock and fascination by the viewing public. It featured actual human bodies, posed as if frozen in action, with the skin removed to show muscles, bones, and organs preserved in plastic. ② More *Body Worlds* exhibits followed in subsequent years, drawing nearly 35 million viewers but causing controversy as well. ③ Many people have been offended by what they see as a disrespectful display of human remains. ④ The bodies are given titles, such as “the Baseball Player” and “the Dancer,” and are placed in poses that imitate movements associated with various activities. ⑤ Some critics argue that this artistic element proves the motive of such exhibits is profit rather than education. ⑥ Others feel that placing bodies in this artificial context turns them into objects, taking away the qualities that once made them human and ignoring their individual pasts.

(問題1) Some opponents of *Body Worlds* believe that

1. the use of plastic to preserve the bodies is unnatural and therefore not appropriate for human remains.
2. the ways the bodies are posed provide hints about their pasts, which could enable viewers to recognize them.
3. the money made by the exhibits should be partially shared with the dead people’s families.
4. the bodies are displayed in a manner that shows little respect for the

lives they once lived.

バラグラフサマリー

1995年の最初の「人体の不思議展」の移動展示は衝撃と強い関心をもって迎えられた。それは本物の人間の死体を皮膚を取り除いて樹脂で保存された筋肉や骨、内臓が見えるように展示していたのが、やがて物議をかもし出し、多くの人が、遺体の冒とく的な陳列であるとして不愉快な気持ちになった。このような展示は、教育目的であるよりも利益目的であると言う批評家もいた。また、このような人工的な状況に死体を置くことは、それらを物としておとめていると感じる人もいる。

解説 正解は4

いかがですか。人体の不思議展に反対している人はどのように考えているのでしょうか。ヒントとなるのは③「多くの人が、人の遺体の冒とく的な陳列であると見て不愉快な気分になった」で、この文脈を言い換えた選択肢4番が正解です。特に③での *disrespectful display* が正解の *shows little respect* に言い換えられています。他の選択肢は本文に記述はなく、例えば1番「死体の保存に樹脂を使用することは不自然で、人の遺骸には不適切である」、2番「死体のポーズは彼らの過去を暗示し、それが誰であったかを見た人に気づかせてしまう」などの記述もないのですぐに消去できたのではないのでしょうか。

必勝攻略法：「無言及」トリックに惑わされない！

第2パラグラフ ① Displaying dead bodies is not a new idea. Mummies and other forms of human remains have long been shown in museums.

② Recently, however, many cultural and ethnic groups have begun protesting these exhibits. ③ The Indigenous Association of Argentina, for example, tried to prevent the exhibition of three mummified Incan children found on Argentina's Lulluillaco peak, calling it an insult to indigenous peoples. ④ It is believed the children were sacrificed as part of an ancient Incan religious ceremony. ⑤ According to the president

of the association, Rogelio Guanuco, displaying the mummies is wrong because “it turns something spiritual into something commercial.”

第3パラグラフ ⑤ The American archaeologist who discovered the mummies, Johan Reinhard, has a different perspective, however. ⑥ He argues that it is better to keep such remains in museums, where they can be protected from thieves. ⑦ He views his work as anything but an insult, seeing it instead as a sort of cultural preservation. ⑧ Indeed, the Incan mummies, which are on display at a museum in Argentina, have revealed much information about the diet, dress, and practices of a culture that had been largely lost to history. ⑨ Instead of keeping such educational treasures from public view, more institutions have begun adopting policies to ensure they are displayed respectfully. ⑩ One priority of these institutions is to make sure educational and cultural information is communicated clearly. ⑪ Many also use signs to prepare visitors for what they will see, and display mummies under soft lighting to create a peaceful, tomblike setting. ⑫ By taking care not to offend visitors, these institutions hope to avoid the controversies associated with exhibits such as *Body Worlds*.

(問題2) What do we learn about Johan Reinhard?

1. He is proud of having discovered the Lullaillaco mummies but thinks it is wrong to profit from them.
2. He supports the transfer of the Lullaillaco mummies to a museum because he believes they are safer there.
3. He fears the Lullaillaco mummies were damaged so badly that it will never be possible to display them.
4. He is certain that some of the Lullaillaco mummies' possessions were stolen before he discovered the mummies.

(問題3) What is one recent policy introduced by some institutions regarding human remains?

1. Remains that have been illegally obtained are removed from display and given a proper burial.
2. Remains are displayed in ways that attempt to be informative to viewers without upsetting or shocking them.
3. The institutions agree to use remains only for research unless permission for other uses is given by family members.
4. The institutions display the remains for a certain amount of time and then return them to their places of origin.

パラグラフサマリー (第2パラグラフ)

死体を展示することは決して新しいことではなく、ミイラやその他の形態の人間の遺骸が長く博物館で展示されてきた。しかし最近では多くの文化的・民族的集団が抗議を始め、例えばアルゼンチン先住民協会はインカ人の子供のミイラの展示を先住民の侮辱としてやめさせようとした。協会会長のロヘリオ・グアヌコはミイラの展示は間違っており、霊的なものを商業的なものにする、としている。

パラグラフサマリー (第3パラグラフ)

しかし、これらのミイラを発見したアメリカ人考古学者のヨハン・ラインハルトは違う考えで、これらの遺骸は博物館に保管していた方が泥棒から守られると主張する。彼はそれを侮辱ではなく、むしろ文化保護のように見ている。実際、博物館に展示されているミイラから、歴史の闇に消えていた多くの情報が明らかになり、丁寧に展示する施設も増えた。これらの施設の優先事項の1つは確実に教育的かつ文化的情報が伝わることで、来場者に心の準備をさせ照明で穏やかな環境を作っている。これらの施設は来場者の気分を害さない配慮をすることで「人体の不思議展」のような展示にまつわる論争を避けたいと考えている。

解説 (問題2) 正解は2

いかがですか。考古学者のヨハン・ラインハルトについてわかることは何でしょう。第2パラグラフでは、「死体の展示」に関しての反対意見が述べられ

ていましたが、第3パラグラフに書かれているラインハルトの考えはどのようなものでしょうか。ヒントは⑥・⑦の文脈です。彼はつまり「遺骸は博物館に保存されていた方が泥棒から守られるので良い」と考えていて、「この取り組みを決して侮辱ではなく文化保護のようなもの」と見えています。正解はこの文脈をサマリーして言い換えた選択肢2番です。⑥の they can be protected from thieves が they are safer there に言い換えられています。

選択肢1番は典型的な「無言及」及び「すり替え」型トリックで、ラインハルトは確かにミイラを発見しましたが、しかしそのことを誇りに思っているという記述はありません。また彼が、収益を生むことが悪いと考えているということも書かれていません。それは第2パラグラフにアルゼンチン先住民協会会長のコメントとして記述があります。このように部分的に内容をすり替え、正解のように見せるトリックには注意しましょう。加えて、複数の大学教授や研究者が出てきたら、誰が何を主張しているか、それぞれの立場を混同しないようにしましょう。

必勝攻略法：「すり替え」トリックを見抜く！

解説(問題3) 正解は2

最後はいかがですか。人間の遺骸に関して最近いくつかの施設で導入されている施策の1つはどんなものでしょうか。ヒントは第3パラグラフ後半で、⑩「これらの施設の優先事項の1つは、教育的かつ文化的情報が明確に伝わるよう念を入れる」、⑪「多くの施設が標識を使い来場者に心の準備をさせ、穏やかな納骨堂のような雰囲気を作るため、ミイラを柔らかい照明の下で展示する」、⑫「来場者の気分を害しないよう配慮することで、これらの施設は「人体の不思議展」のような論争をさけたいと考えている」、というこれらの文脈をサマリーして言い換えた選択肢2番が正解です。特に⑫の not to offend visitors の部分が without upsetting or shocking them に言い換えられています。

必勝攻略法：本文の「言い換え」が正解！

これで合格！読解問題スピード攻略 必勝テクニック5

2015年度第2回 過去問題 難易度：やや難

(目標時間10分：制限時間12分)

Evolution: Fast or Slow?

本文第1パラグラフ ① How long does it take for an evolutionary change to occur? ② In the case of the green anole, a lizard native to the southeastern United States, it only took 20 generations, or about 15 years. ③ Certain populations of green anoles in Florida have adapted to the recent invasion of the brown anole, which is native to Cuba and the Bahamas and may have arrived on cargo ships. ④ At first, the two species competed for food and living space, and the brown anoles sometimes preyed on the green anoles, young. ⑤ The green anoles soon began living high in trees, where the heavier brown lizards could not go, and developed large toe pads and sticky scales on their feet in order to be better able to grip the smooth, narrow branches as they walk.

(問題1) What happened to the green anoles in Florida?

1. They became able to eat different kinds of food in order to compete with brown anoles.
2. They adapted to living in a different type of tree whose branches were easier to move around on.
3. Their body weight decreased to enable them to catch prey on thin tree branches.
4. The structure of their feet changed so that they could move more effectively on certain surfaces.

パラグラフサマリー

進化的変化が生じるのには、どれくらい時間がかかるのか。アメリカ南東部のトカゲ、グリーンアノールの場合にはほんの20世代で約15年だけであった。フロリダのグリーンアノールは、貨物船で運ばれてきたキューバやバハマに固有のブラウンアノールの侵入に適応した。最初は食べ物や生息域などで互いに争っていたが、グリーンアノールの方が、体重の重いブラウンアノールが登れない背の高い木の上で住むようになった。彼らは滑りやすい枝をうまく握れるように、足の指の膨らみや粘着性のあるうろこを四肢に発達させた。

解説 正解は4

さて、最初の問題はいかがですか。選択肢2番がややトリッキーでしたが、⑤の文脈をよく把握しましょう。「グリーンアノールは貨物船によって運ばれてきたであろうブラウンアノールから自分たちを守るために、木々の高い場所に住むようになり、滑りやすい枝をうまく握れるように大きな足指の膨らみや粘着性のあるうろこを発達させた」とあります。引っかけの選択肢2番は「彼らはもっと動き回ることが容易にできる枝を持つ異なる種類の木での生活に適応した」とありますが、グリーンアノールは生活する木を変えたのではなく「自分たちの四肢を新しい環境に適応するために発達させた」のでこれは不正解。この内容に一致するのは「類語で言い換えパターン」の選択肢4番です。

必勝攻略法：「すり替え」トリックを見抜く！

第2パラグラフ ① Josef Uyeda, a zoologist at Oregon State University, believes that although rapid changes such as those in the green anoles are remarkable, they are unlikely to last for a significantly long time.

② After completing a survey of a broad range of fossil records and living species, Uyeda's team found that such changes "do not always persist and may be confined to small populations." ③ In fact, as a general rule, a million years of gradual evolution is required for a change to become

permanent and spread across a wide area.

(問題2) What does Josef Uyeda suggest about species evolution?

1. While smaller animals may evolve more rapidly, larger species take about a million years to change.
2. The fossil record shows that evolution in a number of species has sped up in the past million years.
3. Rapid evolutionary changes are possible for local populations, but they are unlikely to affect species over a broad area.
4. Nature is so unpredictable that it is impossible to know how fast evolution will occur in any animal population.

パラグラフサマリー

オレゴン州立大学のジョセフ・ウィーダは、グリーンアノールのような急速な変化は注目に値するが、そのような変化は長期的に持続しないと考えている。化石の記録などの調査で、彼の研究チームはそうした変化が必ずしも持続するのではなく、小さな個体群に限定されるのではないかとこのことを発見した。実際、一般的な法則では、ある変化が永続的なものとして広い範囲で普及するには100万年にもわたる進化の過程が必要である。

解説 正解は3

種の進化に関してジョセフ・ウィーダはどんなことを示唆しているのでしょうか。ヒントはまず①「グリーンアノールのような急激な変化は注目には値するが、長期にわたっては持続しないだろう」の記述です。そして最大のヒントとなるのは In fact, で始まる③の文脈です。In fact は主に筆者の主張や自説をさらに強めるため、また読者に注意してもらうために、これらの語句の後に筆者が最も強調したい主張が続く場合が多く、問題として出題されることが多いです。この問題にもそれが当てはまり、③の文脈「実際、一般的な法則では、ある変化が永続的なものになり広く普及するには100万年にもわたる進化を要する」が選択肢3番で裏返しパターンで言い換えられています。

必勝攻略法：In fact で始まる文は正解の大きなヒント！

第3パラグラフ ① Uyeda believes that for lasting evolutionary changes to take place, the factors causing them must “continue and become widespread” — for example, the permanent disappearance of a major food source from a species’ entire habitat could bring about an evolutionary change that allows them to eat something else. ② One question Uyeda explored was whether climate change is a significant force in evolution. ③ He believes that, while it may be one contributing cause, it is unlikely to lead to evolutionary shifts on its own, as many species have remained largely unchanged over periods of greatly differing climate.

(問題3) Uyeda believes that climate change

1. has led to many evolutionary changes since it affects things like the types of food that are available to a species.
2. is likely to have a significant effect on species whose populations are restricted to one specific area.
3. has probably never been the main factor that shaped the evolution of a species.
4. is likely to lead to permanent changes in species when it results in great temperature differences within a short time.

パラグラフサマリー

ウィーダは、持続的な進化的変化が起きるには持続的かつ広く普及する要因が必要で、例えばある生息地全体から主要な食物源が消滅することなどがあれば、何か他のものを食べる進化が起きるかもしれない、としている。彼は気候の変化が進化に重大な影響を及ぼすかどうかを調べ、それは一因になるかもしれないが、多くの種が大きく気候が異なるいくつかの時代に大きく

変化しないままでいるので、気候の変化だけでは進化的変化には結びつかないであろうと考えている。

解説 正解は3

最後はどうでしょう。ウィーダの天候の変化に関する見解を読み取る問題です。ヒントは本文③からで、彼は「気候の変化は、進化的変化を生む一因になるかもしれないが、多くの種が大きく気候が異なるいくつもの時代に大きく変化しないままでいることを考慮すると、気候の変化だけでは進化的変化には結びつかない」と考えています。文中の助動詞 **may** (推量・可能性) はかなり弱い可能性を表すので、天気の変化は進化の一因には「ほとんどならない」というニュアンスである一方、その次の **it is unlikely** … (起こりそうにない) は現在形を使って意味的には断定的で、この辺りのニュアンスの捉え方が重要なヒントです。この部分が **never** を含む正解の選択肢3番に言い換えられています。

必勝攻略法：本文の「言い換え」が正解！

これで合格！読解問題スピード攻略 必勝テクニック6

2015年度第2回 過去問題 難易度：やや難

(目標時間12分：制限時間15分)

Smallpox

本文第1パラグラフ ① Throughout much of history, smallpox was one of humanity's most feared diseases. ② Caused by the deadly *Variola* virus, it resulted in horrible skin blisters, pain, and fevers. ③ Smallpox was spread by coughing and contact with victims or their clothing and bedding, and it killed up to a third of those infected. ④ There is no cure, and until the late 1700s, the only defense against it was a procedure known as variolation. ⑤ As smallpox survivors were known to become immune to the *Variola* virus, fluid or tissue containing the virus was introduced into the body of an uninfected person. ⑥ If all went well, the treated person developed immunity. ⑦ The treated individual still suffered some symptoms of the illness, however, and in about 2 percent of cases, something went wrong with the treatment, resulting in the patient being killed by the virus or spreading it to others.

(問題1) What was one problem with using variolation to prevent smallpox?

1. Although it made people immune to the *Variola* virus, it left them so weak they often died of other diseases that did not usually kill people.
2. Although it prevented infection caused by contact with fluid from victims' bodies, it did not protect against the *Variola* virus when spread by coughing.
3. The *Variola* virus had increased in strength by the late 1700s, which meant the procedure was less effective in many cases.

4. The procedure exposed people to the *Variola* virus, which put them at risk of developing a potentially fatal case of the disease.

パラグラフサマリー

天然痘は人類が最も恐れた病気の1つで、それは天然痘ウイルスによって発症し、感染者の咳、及びその衣服や寝具との接触からも感染が広まった。治療法はなく、1700年代末期までは人痘接種による防衛策しかなかった。その治療が成功すれば免疫が養われたが、それでも約2%が天然痘ウイルスにより命を落としたり、他人に拡散することになった。

解説 正解は4

いかがですか。「天然痘防止のための人痘接種の問題点」を選ぶ問題です。variolation (人痘接種) のような単語は難しく感じられますが、このような一般語彙でない特殊語彙に関しては、大抵の場合は文中にそれを説明する記述があるので落ち着いて読み進めましょう。この場合は④・⑤で、「天然痘を克服した人は免疫ができると考えられ、そのウイルスを含む体液や組織をまだ感染していない人の体内に入れた」と記述があります。人痘接種の問題点としては⑦からの文脈がヒントです。まず選択肢1番ですが、「体を弱らせ、一般的には命を奪わないような他の病気で死んでしまった」との記述はありません。2番はどうでしょうか。「感染者の体液との接触による感染は防いだが、咳によるウイルス拡散は予防しなかった」ですが、こちらも感染ルートの違いを示すような記述はありません。3番「天然痘ウイルスの力が増し、人痘接種があまり効果的ではなかったことを意味した」にはまったく言及されていません。「無言及トリック」ですぐに消去しましょう。正解は本文⑦「治療を受けた患者の約2%が天然痘ウイルスにより命を落としたり、他人に拡散することになった」の文脈が、「類語言い換え型」で正解の4番 put them at risk of developing a potentially fatal case of the disease (彼らを天然痘の致命的な症状を引き起こす危険にさらす) に言い換えられています。さらにこの問題は fatal (命取りになる) の語彙力もないと選択肢を選びにくく、受験者を苦しめる難問と言えるでしょう。

必勝攻略法：「無言及」トリックに惑わされない！

第2パラグラフ ① In 1796, British physician Edward Jenner noted that farmwomen who milked cows daily did not get smallpox. ② Their exposure to cows caused them to instead develop cowpox, an illness that resembled smallpox but was far less severe. ③ To test the connection between the virus that caused cowpox and the *Variola* virus, Jenner exposed volunteers to tissue from a cowpox-infected farmwoman. ④ Later, he exposed them to the *Variola* virus and observed that the volunteers showed no signs of smallpox. ⑤ Jenner created the word “vaccine,” based on the Latin word “*vacca*,” meaning “cow,” to describe his new technique for preventing smallpox.

(問題2) What was Edward Jenner’s reason for linking the name of his discovery with cows?

1. He developed a smallpox treatment by adapting a traditional technique farmwomen used to cure a disease they caught from cows.
2. He observed that people who consumed fresh cow’s milk every day developed a particularly dangerous type of smallpox.
3. He realized that a disease that came from cows could hold the key to providing humans with protection from smallpox.
4. He first performed tests on cows in an effort to find a safer way to cure people who were sick with smallpox.

パラグラフサマリー

1796年にイギリスの医師エドワード・ジェンナーは毎日牛の乳搾りをする農家の女性が天然痘にかかっていないことに気づいた。彼女たちは牛に体をさらすことで、代わりに牛痘を発症したが、それは天然痘には似ているがはるかに症状は軽いものだった。ジェンナーはその関連性を調べ、牛痘に感染

すると天然痘にはかからないことがわかった。彼はラテン語の「牛」を意味する vacca から「ワクチン」という用語を作った。

解説 正解は3

こちらはどうか。「エドワード・ジェンナーが自分の発見を牛と結びつけた理由」を答える問題です。ヒントはパラグラフ全体を正しく読み取る必要がありますが難しく、例えば milk cows (牛の乳を搾る) の意味が最後まではっきりせず選択肢で惑わされた受験者もいました。つまり、「毎日牛の乳搾りをする女性は天然痘にはかからず、代わりに牛痘を発症させていたのだが、実験を行った結果、牛痘に感染していれば天然痘の兆候をまったく見せないことが観察された」と書かれています。正解はこの部分を「サマリー」した選択肢3番です。

必勝攻略法：パラグラフのサマリーを見抜こう！

第3パラグラフ ① Vaccination programs spread rapidly, virtually eliminating smallpox from many developed countries, but in the mid-twentieth century, millions were still suffering from the disease around the world. ② It was not until 1959 that the World Health Organization (WHO) launched a program to eliminate smallpox from developing nations as well. ③ Although successful in some areas, the campaign faced a serious obstacle. ④ In countries with large populations and high rates of infection, such as India, the task of vaccinating everyone was so expensive and time-consuming that many believed the elimination of smallpox to be impossible. ⑤ In 1966, however, William Foege, an American doctor working in eastern Nigeria, realized that close monitoring and fast responses could prevent the spread of smallpox outbreaks. ⑥ By vaccinating everyone both within and immediately surrounding a smallpox victim's community, he was able to stop outbreaks in the region in five months. ⑦ The WHO adopted the

technique, and it proved to be just what was needed to eliminate the virus.

(問題3) Smallpox was finally eliminated after the World Health Organization

1. realized that despite the high cost, it was necessary to vaccinate every person in countries where people were being infected.
2. began focusing on locating people with the disease and preventing its spread by vaccinating people in the area around them.
3. adopted a new type of vaccine that was more effective in preventing the disease than the one invented by Edward Jenner.
4. started a policy of closely monitoring a community for five months after the last reported outbreak of the disease.

パラグラフサマリー

ワクチン接種計画は急速に広まり、多くの先進国から天然痘を根絶したが、20世紀半ばでもまだ世界では何百万人の人が苦しんでいた。1959年になって初めて世界保健機関（WHO）は発展途上国においても天然痘を撲滅する計画に着手し、いくつかの地域では成功したが、ある深刻な障害に直面した。人口が多く感染率が高いインドのような国はワクチンに相当な費用と時間がかかりすべての人にワクチン接種することは不可能とされた。しかし1966年ナイジェリア東部で働いていたアメリカ人医師のウィリアム・フェイジーは注意深い観察と素早い対応で天然痘の発生は防げると気づいた。彼は、天然痘患者がいる地域とその周辺地域のすべての人にワクチン接種をすることで、5カ月後には大流行を止めることができた。WHOはこの技術を採用し、この方法こそが天然痘ウイルス撲滅に必要であることが明らかになった。

解説 正解は2

いかがでしょう。この問題は「天然痘がついに撲滅されたことと、世界保健機関との関連性」を読み解く必要があります。ヒントは本文⑤～⑦のサマリーですが、具体的には⑤ close monitoring and fast responses（注意深い観察や迅速な対応）、⑥ By vaccinating everyone both within and immediately

surrounding a smallpox victim's community (天然痘患者がいる地域とその周辺の地域のすべての人にワクチン接種をすることで) などの記述が選択肢2番に言い換えられています。

必勝攻略法：本文の「言い換え」が正解！

第4パラグラフ ① The last naturally contracted case of smallpox occurred in 1977, and the WHO officially declared the virus eliminated in 1980, marking a major achievement in medical history. ② Yet samples of the *Variola* virus are still kept in labs in the United States and Russia in case smallpox returns. ③ Most nations in the world, along with the WHO, favor destroying these stocks. ④ The U.S. and Russian governments, however, say that doing so would be extremely risky, as no one can be sure that secret or forgotten samples do not still exist somewhere in the world. ⑤ A new outbreak, whether accidental or the result of an act of bioterrorism, could cause an epidemic.

(問題4) What reason is given for the United States and Russia continuing to maintain samples of the *Variola* virus?

1. As someone could be infected in the process of destroying the samples, there is less risk involved in keeping them.
2. The samples may be needed in the event that the disease somehow makes a reappearance in the future.
3. Routine vaccination over the past few decades has given humans complete immunity, so the samples are not dangerous anymore.
4. The samples held by the two countries have been altered so that they no longer have the capability to infect people.

パラグラフサマリー

最後の天然痘自然発症は1977年で、WHOは1980年に正式に天然痘を撲滅したと宣言した。天然痘ウイルスの標本は、再び出現した時に備えてアメリカとロシアに保存されているが、世界の多くの国はWHOとともにこれらの保管されたウイルスの撲滅に賛成している。しかしアメリカとロシア政府は、秘密にされていたり、忘れ去られたウイルス標本が世界のどこにもないとは誰も言い切れないとして、そうすることは非常に危険だと述べている。それが偶然によるものであれば細菌テロであれば、天然痘の新たな発生は大流行を引き起こす可能性がある。

解説 正解は2

さて、最後はいかがですか。アメリカとロシア政府が天然痘ウイルスを保管する理由は何でしょうか。ヒントは本文②の in case smallpox returns (天然痘が再び出現した時に備えて) で、これが選択肢2番の in the event that the disease somehow makes a reappearance in the future (将来何らかの理由で天然痘が再現した時に) に言い換えられています。他の選択肢はどれも全く記述がなく、消去しやすかったのではないのでしょうか。

必勝攻略法：本文の「言い換え」が正解！

これで合格！読解問題スピード攻略 必勝テクニック7

2015年度第3回 過去問題 難易度：難

(目標時間10分：制限時間12分)

Bonnie and Clyde: The First Modern American Film

本文第1パラグラフ ① When the film *Bonnie and Clyde* was first released in 1967, critics hated it. ② Based on the true story of two lovers named Bonnie Parker and Clyde Barrow, who robbed banks together in the 1930s, the movie was called “tasteless,” “evil,” and “stomach-turning” by early reviewers. ③ It was also said to promote criminal behavior and was by far the most violent film ever shown in U.S. theaters. ④ Today, however, it is regarded as a work of creative genius, and the beginning of modern American cinema.

第2パラグラフ ⑤ Since the 1930s, American directors had been following a set of industry guidelines known as the Hays Code. ⑥ A main rule of the code was that movies should avoid the promotion of “crimes, wrongdoing, evil, or sin.” ⑦ *Bonnie and Clyde* shocked the United States by going against this; the film showed its main characters enjoying their life of crime and expressing little guilt about shooting people. ⑧ By making the police who chased them seem evil and focusing on the romance between the characters of Bonnie and Clyde, however, director Arthur Penn caused viewers to sympathize with the two characters. ⑨ In fact, the tremendous popularity of these antiheroes led other filmmakers to include main characters that have strong dark sides in their films, and today such characters have become associated with American cinema.

(問題1) One reason that *Bonnie and Clyde* was shocking when it was released is that

1. the film failed to include a warning required by the Hays Code about the numerous acts of violence that were shown.
2. the director claimed he did not think the things Bonnie Parker and Clyde Barrow did were wrong.
3. the main characters did things that did not meet the moral standards of the American film industry.
4. the inability of the police to arrest the two main characters made law enforcement officials look foolish.

パラグラフサマリー

アメリカで1967年に *Bonnie and Clyde* が初めて上映された時は、その映画は趣味が悪く邪悪だと厳しく批判され、また今までで最も暴力的な映画で犯罪を助長すると見なされた。しかし、今日では才能豊かな作品で、近代アメリカ映画の先駆けと称されている。

1930年以降、アメリカ映画は Hays Code という犯罪の助長を抑制するガイドラインに従う習いになっていたが、*Bonnie and Clyde* はそれに見事に反し衝撃を与えた。ディレクターの Arthur Penn は、視聴者が主人公にうまく同情する描写を取り入れ、その人気振りから他の映画会社もこのようなアンチヒーローも取り入れるようになり、今日のアメリカ映画と結びつくようになった。

解説 正解は3

いかがですか。問題1は第1パラグラフと第2パラグラフの文脈から選択肢を選びますが、特に大きなヒントは⑦です。つまり「この映画は Hays Code と呼ばれる、犯罪やバイオレンスなどのシーンを映画に組み込まないようにするガイドラインに反し、2人の主人公が犯罪を犯すのを楽しみ、人を撃つても罪悪感を感じない様子を描写した」の文脈から「裏返しパターン」の選択肢3番が正解で、*did not meet the moral standards of the American film industry* (アメリカ映画産業の道德規準に依じていなかった)の部分に

言い換えられています。他の選択肢はどれも本文の単語を部分的に使って正解らしく見せている「すり替え型」でした。トリックに引っかからないよう注意が必要です。

必勝攻略法：語句のすり替えトリックに惑わされない！

第3パラグラフ ① Another issue was that the Hays Code permitted limited violence, but blood and painful suffering were strictly forbidden. ② *Bonnie and Clyde* contains numerous acts of extreme violence, and Penn used innovative techniques such as quick cuts between scenes and slow-motion photography to make such scenes even more intense. ③ Penn felt the general public was used to seeing violence because images of death and fighting from the Vietnam War were becoming common in the media. ④ Further, violent crime in the United States was increasing, and Penn believed it was important to show how things really were. ⑤ When *Bonnie and Clyde* became a huge hit, it demonstrated that the Hays Code had lost its power, and the door was opened to the high levels of violence in cinema that are taken for granted today.

(問題2) Why did Arthur Penn put so much violence in *Bonnie and Clyde*?

1. He wanted his film to reflect changes that were taking place in American society at the time.
2. He realized that innovations in technology could be used to show more-realistic violence in movies.
3. He was trying to criticize the extreme violence that was becoming common in American films about the Vietnam War.
4. He knew that if there were a lot of complaints about the violence in the film, the publicity would make the film a hit.

パラグラフサマリー

Hays Code は限定されたバイオレンスは認めているのだが、血や痛烈な苦しみなどの描写は厳しく禁じていた。Bonnie and Clyde はこのような激しいバイオレンスを含んでいるが、Arthur Penn は斬新な手法を使い、このようなシーンをさらに強烈なものにした。彼は、メディアで連日報道されるベトナム戦争の有様に一般大衆が慣れてきていることや、国内で凶悪犯罪が増加していることなどから、現実に行っている事態を映画に写し出すことが重要だと感じた。

解説 正解は1

こちらはトリッキーな問題で、選択肢2番の innovations in technology に引っかかった学習者が多くいました。②に innovative techniques とありますが、これはバイオレンスシーンをより強烈にするためのものであり、問題である「多くのバイオレンスを使った理由」の答えには関係なく、このような「すり替え」トリックに引っかからないようにしましょう。最大のヒントは③・④の文脈です。「Penn はメディアで連日報道されるベトナム戦争の有様に一般大衆が慣れてきていることや、国内で凶悪犯罪が増加していることなどから、現実に行っている事態を映画に写し出すことが重要だと感じた」をサマリーしているのは選択肢1番 He wanted his film to reflect changes that were taking place in American society at that time. (彼は自分の映画にその当時アメリカで起こっている変化を反映させたかった。) です。特に④の show how things really were が言い換えられています。

必勝攻略法：語句のすり替えトリックに要注意！

第4パラグラフ ① Modern viewers of *Bonnie and Clyde* may be surprised because the film does not seem at all shocking now. ② However, this is because Arthur Penn's pioneering filmmaking techniques, use of antihero characters, and willingness to show realistic violence have been so widely imitated that they are now barely noticeable in the movie that pioneered them.

(問題3) What does the author of the passage say about the way modern viewers may react to *Bonnie and Clyde* ?

1. Viewers often find that the characters in the film actually appear to be more violent and evil than characters in modern films.
2. The film has had such a powerful influence that the things that once made it controversial seem very common now.
3. Viewers are usually surprised by how greatly American culture has changed since Bonnie Parker and Clyde Barrow were alive.
4. Modern reactions to the film are due to changes Penn made after critics pointed out problems with his filmmaking style.

パラグラフサマリー

Bonnie and Clyde は、今では衝撃的ではないようなので現代の視聴者は驚くかもしれない。しかし、それは Arthur Penn の映画製作の先駆者的な技術や現実的なバイオレンスを表現しようとする意欲のおかげで、それが幅広く模倣され今ではほとんど目立たないくらい広まったからである。

解説 正解は2

最後の問題はいかがですか。現代の視聴者の反応については①・②の文脈を読み取りましょう。つまり、「今となっては衝撃を受けるようなものではない」「それはペンの斬新なテクニックやアンチヒーローの起用、現実味のあるバイオレンスを表現しようとする意欲が幅広く模倣され一般的になったからだ」と述べられています。この内容が「裏返しパターン」で選択肢2番に言い換えられています。

必勝攻略法：パラグラフのサマリーを見抜こう！

さて皆さん、いかがでしたか。全体的に難しい問題ばかりを選んだので、それぞれの大会で1問落としぐらいが合格ラインかと思います。

では、これからも引き続き基礎体力作りと攻略法を深めて学習を続けましょう！

英検準1級合格をぜひとも勝ち取ってください。

第4章 英検準1級ライティング問題スピード攻略法

英検準1級でライティング問題が導入されたのは2004年度ですが、2015年度までは約100語以内の英文レター（Eメール）形式で、現代社会情勢に関する3つの質問に対しその答えを論理的にまとめるものでした。トピックは教育・家庭・健康・メディア・ビジネス・高齢化社会などと多岐にわたり、幅広い社会問題に関してコメントを述べたり、現状分析をしたり、予測することを求められる問題となっていました。2016年度からの新傾向では難易度がグッと上がり、それまでは英検1級のライティング問題で行われていた「エッセイ形式」に変わりました。新傾向からは、出題されたトピックに関する自分の意見を与えられた語句の中の2つを使って論理的に書くことが求められます。語数も100語程度から120～150語程度と長くなり、難易度がいっきに上がりました。

エッセイの評価方法は、

- ①内容【課題で求められている内容が含まれているか】4点満点
- ②構成【英文の構成や流れがわかりやすく論理的であるか】4点満点
- ③語彙【課題に相応しい語彙を正しく使えているか】4点満点
- ④文法【文構造のバリエーションやそれらを正しく使えているか】4点満点

以上4つの項目で、合格を確かなものにするためには、計12点以上得点する必要があります。そこでこのセクションでは、様々な社会問題に関するエッセイライティング問題の攻略法を紹介していきたいと思います。

英検準1級エッセイライティング問題満点ゲットの極意！

準1級エッセイライティング問題は配点がリスニング問題同様に、99点満点中16点と高く、このセクションのスコアが合格の決め手になると言っても過言ではありません。学習者の多くは10点以上が取れず四苦八苦していますが、攻略法を学び、パラグラフ構成のパターンを熟知し、トレーニングを受ければ、最も短期間でスコアUPが実現可能なセクションでもあります。

そのためには普段から社会問題に興味を持ち、新聞やネットで背景知識を増

やし、できればそれらについて英語で意見を言えるようにまとめておきましょう。エッセイのみならず2次面接のQ&Aで欠かせないのが、社会情勢に関する問題意識と“**logical analysis (論理的分析)**”の能力です。自分の意見を英語ですぐに述べられるようになるには、日頃から社会問題に関してアンテナを張り、社会問題に関するテレビの特別番組などを見て情報を入手した後で、問題を分析しコメントを述べる練習をしておくことです。

そして、具体的な攻略法としては次の6つがあります。

(エッセイライティング問題 6つの攻略法はこれだ！)

1. 与えられたポイントが、賛成・反対のどちらの立場で書きやすいか判断する。
2. イントロダクション・ボディー（理由を2つ）・結論を含め、必ず3つ以上のパラグラフで書く。
3. メイン・ボディーは、まず必ずポイントを書くことから始め、次にそのサポートを述べる。
4. 文法・語法ミスをしないように文法力・運用語彙力をUPさせる。
5. 字数制限が120～150語なので130語くらいでまとめる。
6. 書いた原稿を必ず見直し、その時間を含めて必ず15～18分以内に仕上げらる。

1. 与えられたポイントが、賛成・反対のどちらの立場で書きやすいか判断する。

問題に書かれたキーワードを2つ用いて、出題されたトピックについて書くことになっているので、自分の意見が賛成であっても、キーワードを見て反対の方が書きやすい場合は反対のスタンスでエッセイを書きます。この判断力と背景知識の有無もテストされています。

2. イントロダクション・ボディー（理由を2つ）・結論を含め、必ず3つ以上のパラグラフで書く。

エッセイは唐突に理由から始めるのではなく、必ずイントロで一般論を述べてからボディーへと進み、最後に結論を書きましょう。イントロの代表的なフ

フォーマットは168ページから解説しています。これらの中から1つを決め、練習しておくことでイントロ作成時間を大幅に削減でき、ボディーの内容をより充実させることができます。

3. メイン・ボディは、まず必ずポイントを書くことから始め、次にそのサポートを述べる。

よく First, や To begin with, と書いてから、ポイントを述べずに詳細やその関連情報を述べる受験者がいますが、必ずポイントから始め、それをサポートすることだけを書き、決してミスマッチした内容（関係のない新情報）を書かないようにしましょう。また、私たちが母国語として使う日本語ではまずサポートしてからポイントを述べる順番なのですが、英語の場合は「ポイント」→「サポート」の順番になるので、この日本語独特のクセが直るようたくさん場数を踏んで練習しましょう。

4. 文法・語法ミスをしないように文法力・運用語彙力を UP させる。

冠詞 (a[an], the) のミス、時制のミス（現在、現在完了、過去、進行形）、3人称の s 抜けや、単数形・複数形のミス、前置詞のミスなど、減点対象となる点が多いので、正確な英文を書けるように、ライティングトレーニング、TOEIC の英文法・語法問題練習、構文の復習などを通して、しっかりとした英文の知識を身につけておく必要があります。

5. 字数制限が120～150語なので130語くらいでまとめる。

長く書くとそれだけ時間がかかり、他の問題にかける時間が少なくなってしまいます。ひな型を使ってイントロと結論でそれぞれ約20語の計50語ぐらい書き、後はキーワードを含んだ40～50語ぐらいずつのパラグラフを2つ作って完成させましょう。自分の字の大きさでは1行に何語ぐらい書けるかを知っておき、数えなくても130～140語に収まるのが理想的です。

6. 書いた原稿を必ず見直し、その時間を含めて必ず15～18分以内に仕上げる。

トピックを見て、すぐに感じたままを殴り書いてそのまま提出すると、ほとんどの場合、非常にミスの多い作文となります。2分でアイデアを構築し、10

～12分で書いて、それを3分で校正できるようにトレーニングすればスコアは大幅に伸びます。

日本語のエッセイでは、つれづれなるままに書いて話が流れ、何が言いたいのかははっきりしなくてもいいのですが、英語のエッセイではそういったものは「散漫 (rambling)」とって評価が大幅に悪くなります。必ずポイントを明確に述べて、それをサポート (例証) するアプローチを忘れてはなりません。そして、必ず1パラグラフに1つのポイント (キーアイデア) を置き、その証明をするようになっていますが、日本人にはなかなかこれができません。事実、サポートを述べず新情報を述べたり、ポイントから述べずにサポートから始めたりして、何を述べているのかわかりにくくなってしまふ場合が非常に多く見られます。また理由 (ポイント) を2つ書く場合は、First (ly) [The first reason is that ~ (第1に)], Second (ly) [The second [Another] reason is that ~ (第2に)] というふうに整理して書くのが鉄則です。実際に何度も書く練習をしましょう。

さてエッセイライティングに重要な「論理的思考力」に関してですが、日本人学習者に多いパターンとして、例えば「リサイクルが日常生活に浸透しているか。」という質問に対して、賛成の立場で「浸透している」と書いておきながら、リサイクルの浸透を証明するサポートをしなければならないのに、途中から「しかし、まだまだリサイクル用に分別されていない家庭ごみをよく見かける」というふうに、それを弱めることを書いてしまうケースが日本人の英語の発信でしばしば見られます。英語では避けなくてはなりません。

人は直感的に好き嫌いで判断し意見を述べたり、あるいは、何も疑うことなく社会通念に従って他人を説得しようとしがちです。また、日本人は、よくグレーゾーンシンキング&スピーキング (中間的思考&発話) をする傾向があるので、話し手のスタンスが Yes なのか No なのかが聞き手にわからない時がよくあり、これが論理的コミュニケーションの障害になっています。ある問題について、Yes (賛成) が80% で No (反対) が20% であれば誰でも Yes と言うでしょうが、前者が55% で後者が45% であれば、Yes か No かのスタンスをはっきりと述べにくいのではないのでしょうか。そんな時、多くの日本人は答えにくそうに Yes の主張を弱める例を挙げてしまい、何が言いたいのかつかみ

どころのない印象を与がちです。エッセイライティングではこのような「あいまい」な立場で書くことがないよう、賛成・反対の自分の立場をクリアにするように努めてください。

ライティング力UPのための必須表現マスター！

★イントロ作成のひな型をマスター！

では、これからエッセイのイントロ（序文）を効率よく書くために必須となるひな型を覚えましょう。次の表現は、特に英検のライティング問題のような時間制限のあるテストを受ける場合に効果的です。ここで紹介するひな型を覚えて運用できるように訓練しておけば introduction 部分を考える必要がないので、メイン・ボディの充実や、リスニング問題の選択肢先読みにもっと多く時間を確保できます。

① 一般論を述べてから、自分の意見や好みを述べるパターン

- It is a highly controversial issue whether or not S + V.** Personally, I believe that ~ (for the following reasons.)
- Different people have different ideas about ~.** Personally, I believe that ~ (for the following reasons.)
- There have been a lot of discussions and debate about (whether or not S + V).** Personally, I believe that ~ (for the following reasons.)
- Some people argue that ~ ,and other don't.** Personally, I believe that ~ (for the following reasons.)

では、さっそくいくつかのひな型を用いて、以下のトピックでイントロ作成の練習をしてみましょう。

(トピック例) **Agree or disagree:**

Smoking should be banned in public places. (喫煙は公共の場では禁止されるべきか。)

イントロ例：

It is a highly controversial issue whether or not smoking should be banned in public places. Personally, I think that smoking should be banned in public places for the following two reasons.

(公共の場での喫煙を禁止するか否かは議論的となる問題である。個人的に私は以下の2つの理由で公共の場での喫煙は禁止されるべきだと思う。)

いかがでしょう？このように「喫煙」などの議論的となる社会問題トピックには controversial issue を含むひな型でイントロを作ってみましょう。ではもう1つ作ってみましょう。

(トピック例) **Agree or disagree:**

More places should be recognized as World Heritage Sites in order to preserve them. (もっと多くの場所が保護のために世界遺産に認定されるべきか。)

イントロ例：

Different people have different ideas about the registration of World Heritage Sites. Personally, I think that more places should be recognized as World Heritage Sites in order to preserve them for the following reasons.

(世界遺産登録については様々な意見がある。私は以下の理由により、もっと多くの場所が保護のために世界遺産に認定されるべきだと思う。)

いかがですか。このようにトピックから registration (登録) のように1語にまとめて、2行目にトピックの文章をそのままを挿入するパターンもできます。参考にして練習しておきましょう。

② 社会状況(問題)を含む様々なトピックに関するパターン

- Nowadays there is a growing tendency [awareness / trend] (among ~) that ...** (～の間で…の傾向(認識)が高まっている)

(トピック例) **Agree or disagree:**

People are becoming too dependent on the Internet.

(人はインターネットに依存しすぎるようになってきたか。)

イントロ例：

Nowadays there is a growing tendency in the world that people are dependent on the Internet. **Personally, I think that** people are becoming too dependent on the Internet **for the following reasons.**

(最近では世界中で人がインターネットに依存する傾向が高まっている。個人的に私は以下の理由から、人はインターネットに依存しすぎるようになってきていると思う。)

③ いろいろなトピックに幅広く使えるパターン

It is often [sometimes] pointed out [said] that …, (but …)

It is generally believed that …, (but …)

このパターンは一般的な考え方と自分の意見が違っている場合は“but”を付けます。また、人々がそう言ったり認識したりしている度合いによって、“It is often pointed out [said] that ….” (認識がかなり高い)、“It is generally believed that ….” (一般的なレベル) を使い分けましょう。

(トピック例) **Agree or disagree:**

Employees are less loyal to their companies these days.

(近頃の従業員は会社に対して忠誠心が弱くなっているか。)

イントロ例：

It is often pointed out that employees are less loyal to their companies these days, **but I think that** employees are becoming more loyal to their companies for the following two reasons.

(近頃の従業員は会社に対して忠誠心が弱くなっているとよく指摘されているが、しかし私は以下の2つの理由により、従業員は会社に対して忠誠心をもっと強くなっていると思う。)

④ 2つのものを比較しながら自分の意見を述べるパターン

- I believe that there are advantages (and disadvantages) to both A and B. Personally, I think that …**

(トピック例) **Agree or disagree:**

Electric media will replace printed materials in the future.

(将来、電子メディアは紙の印刷物に取って代わるか。)

イントロ例：

I believe that there are advantages to both electric media **and** printed media. **Personally, I don't think that** electric media will replace printed materials for the following reasons.

(私は電子メディアと紙の印刷物の両方に利点があると思う。個人的な意見では将来、以下の理由により電子メディアが印刷物に取って代わることはないと思う。)

さて皆さん、いかがでしたか。一般的にエッセイのイントロというのは、「一般論」「現状分析」について情報量の多いものを書くのが理想ですが、リサーチする時間のない筆記試験では、このひな型のようなアプローチで書けば「現状分析」の1つとして有効です。ぜひ場数を踏んで練習し、自分のものにしてください。

では、次は主にメイン・ボディでのライティングで使用する必須表現をご紹介します。

★「因果関係・要因」を表す重要表現

センテンスやパラグラフの因果関係を表す表現は多いのですが、特に重要なものとして、so, therefore があります。

- so** (therefore と違って因果関係がそれほど強くない場合に用いる口語的な表現)
- therefore** ((それゆえに・従って) 先行するものの必然の結果を指すが「結論」の方を強調する)
- as a result** ((その結果として) 先行するものの「結果」として起こる)

また、以下の重要動詞表現をしっかり学習しておきましょう。

- cause** (悪いことを起こす。因果関係を強調する)
Looking after a newborn baby can **cause** a lot of stress.
(生まれたばかりの赤ちゃんの世話は多くのストレスを引き起こす。)
- contribute to** (物事が起こる「一助」となる。悪いことにも使うので注意)
Sports **contribute to** children's physical and mental development.
(スポーツは子供の肉体的精神的発達に寄与する。)
Excessive drinking can **contribute to** health problems.
(過度な飲酒は健康問題の一因となる。)
- lead to** (プロセスを経て何かを引き起こす。ある状態や結果に向かう)
Violent scenes in the media can **lead to** antisocial behavior among young people. (メディアの暴力シーンは若者の反社会的行為につながる。)
- pave the way for** (将来の進歩や出来事を起こりやすくする)
Women's participation in paid work will **pave the way** for gender equality and female empowerment.
(女性の仕事への参加は男女平等や女性の地位向上への道を開くだろう。)
- bring about** (ある状態に「変化」をもたらす)
The nuclear accident **brought about** a drastic change in the public awareness about renewable energy. (その原発事故は再生可能エネルギーに対する国民の意識に大きな変化をもたらした。)

★「示す」を表す重要表現

- enlighten** (重要なことを理解させる)
Ecotourism can **enlighten** people about the importance of nature preservation. (エコツーリズムは人々に自然保護の重要性を教える。)
- showcase** (良い所を魅力的に見せる)
Hosting international sporting events can help **showcase** a host country's unique culture.
(国際競技大会の開催は主催国の独自の文化を示すのに役立つ。)
- serve** (役割として活動を通じて示す)
Parents should **serve** as role models who set a good example for their children to follow. (親は、子供が従うべき手本を示すロールモデルになる)

べきである。)

★「追加」に関する重要表現

物事を理解してもらうために、さらなる詳しい情報を伝える必要があります。その言葉の情報をつなげる役割をするのが以下の表現です。

- furthermore** (次に述べる情報を強調する)
- moreover** (前述したことに追加・サポートする。フォーマルなニュアンス)
- in addition** (別の情報を加える)

★「視点・状況判断」に関する重要表現

社会的な視点で意見を述べる場合に用います。使いこなせると得点アップ間違いなし！

- Considering [Given] the situations** (この状況を考慮すれば)

I think that the birthrate will continue to decline **given the current situation**. (今の状況を考えると、出生率はこれからも下がり続けるであろう。)

- From the economic [global, historical] point of view** (経済的 [世界的・歴史的] に観れば)

From the economic point of view, advertising can boost the economy by simulating consumption. (経済的な観点から、広告は消費を刺激して経済を高めます。)

- When it comes to ~ , As for ~ , As far as ~ is concerned** (～に関しては、～の点では)

As far as the financial security is concerned, I think that seniority system is better than performance-based pay system.

(経済的安定に関しては、年功序列制の方が能力給制より良いと思う。)

★「場合・状況」に関する重要表現

- under the circumstances** (こういった状況の中で)

I think that more people will choose to work beyond retirement age in the future **under such circumstances**. (このような状況では、もっと多くの人が定年後も仕事をするでしょう。)

- depending on the situations ~** (状況に応じて)

in this case (この場合)、**in the case of** ~ (～の場合)

★「推量」に関する重要表現

There is a strong possibility that ~ (～の可能性は高い)

~ **is a remote possibility** (～にはほど遠い)

I think that world peace is **a remote possibility**.

(世界平和は実現しそうにないと思います。)

★「例を挙げる」重要表現

Take ~ for example, For example, For instance (例えば)

Firstly [First, First of all] ~ , Secondly ~ , Finally などで具体的な説明が続く。

★「時」に関する表現

Eventually [Sooner or later] (最終的に)

As the time goes by [In the course of time] (やがて)

In the past (かつては)、**At present** (目下は)、**In the future** (将来は)

For the present [moment] (目下のところ)、**At this stage** (現段階では)

★その他の重要表現

It depends on the situation. (状況により異なる。)

It varies from people [region] to people [region]. (人 [地域] により様々である。)

皆さん、いかがですか。ぜひ、このような表現をエッセイに取り入れ、得点アップにつなげてください。さて次は、実際に書かれた作文の添削指導を通して、皆さんがエッセイ問題で高得点が取れるようにスキル UP トレーニングを行います。用意はいいですか。

問題1 (英検サイト サンプル問題より)

- Write an essay on the given TOPIC.
- Use TWO of the POINTS below to support your answer.
- Structure: Introduction, main body, and conclusion
- Suggested length: 120~150 words

TOPIC

Agree or disagree:

Small, independent shops and businesses can survive in modern society.

POINTS

- Cost
- Customer service
- The economy
- Traditional skills

添削例

① I often hear that the number of small and independent shops and businesses have been decreasing.

→ **has**

→ **Some people think that small, independent shops and businesses can survive in the future, but others don't.**

② But, I believe that they can survive in modern society.

→ **Personally, I think that they can survive in modern society for the following two reasons.**

First, ③ large businesses and chain stores can't provide their customers always を挿入

with enough customer service.

④ For example, large electrical appliance stores can't offer

the service of visiting their customers' home to show them how to use an appliance when they have trouble using one.

⑤ Secondly, many independent shops ~~would~~ play an important role to ~~preserve~~ traditional skills.

⑥ → **in preserving**

⑦ Most people like the excellent quality and craftsmanship

⑧ → **appreciate**

of the products that small businesses sell or create. ⑨ Nowadays, many tourists from other countries ~~also attract~~ those traditional Japanese

⑩ → **are also attracted to**

goods.

⑪ So, I think that small, independent shops will survive in modern society.

まず、トピック「小規模や個人経営の店やビジネスは現代社会で生き残れるか」と、与えられた語句をよく見て、それが賛成側か反対側かのどちらに使いやすいかを判断します。最近は大都市の郊外に大型ショッピングモールが次々とオープンし、商品価格が個人経営店より安く、また品揃えも豊富なので、消費者の多くが地元の商店街から離れ、そのような商業施設に流れている傾向と同時に、大型店舗におけるサービスの低下もささやかれています。

では、与えられた語句 ① Cost ② Customer service ③ The economy ④ Traditional skills を吟味して、賛成 (pros) なのか反対 (cons) なのかを考えてみましょう。以下のような理由で、それぞれが使用可能でしょう。

① **Cost**

まず、こちらはどうでしょう？ コストは、「小型店舗の方が生き残れない」

という、つまり反対側の意見でしょう。大型店は個人経営の小規模店よりは低価格での商品供給が可能です。

② Customer service

こちらはどうかでしょう。「顧客サービス」は賛成側のポイントで使いやすいでしょう。例えば「個人経営店は消費者の要望に添った良い顧客サービスを供給できる」のような意見が可能です。大型店舗の場合は、一般的に消費者のニーズに応じた細かい対応ができない場合も多く、この語句を反対側で使うのは難しいでしょう。

③ The economy

この語句は、例えば次のように the Japanese economy や the local economy などと変化して使えます。この場合は反対側のサポートとして「大型店の進出により商店街のような小規模経営の店は衰退し、the local economy (地元の経済) にも悪影響を及ぼすだろう。」などのような意見が可能です。

④ Traditional skills

これはどうですか。賛成側ですね。「地元産業の伝統技術は品質の高い商品の生産を可能にし、大規模店舗には負けない魅力的な商品が競争力となり生き残っていきける」のような意見が可能です。

いかがでしょうか。このようにトピックと与えられた語句を見て以上のような分析ができたなら、もうエッセイは半分できたも同然です。では、添削例を見てみましょう。

Introduction

まず序文ですが、これはあらかじめ自分の書きやすいひな型で何度も練習して慣れておきます。今回は次のように、まず①は **Some people think that small, independent shops and businesses can survive in the future, but others don't.** (もしくは、**but others think that they will not compete with large chain stores.**) とします (compete with 「～と張り合う」)。もちろん時間的に余裕があれば添削例①のように「小さな個人経営の店の数は減少している。」のように述べて構いません。ただ、案外、序文というのは時間がかかることが多いので、ひな型を使用しないイントロ作成はあまりお勧めできないのが現状です。②はこのままだと不十分で、やはりひな型を使って、

Personally, I think that they can survive in modern society for the following two reasons. のようにして、「以下の2つの理由で」を加えましょう。また、他の例として

I agree with the idea that small, independent shops and businesses will be able to survive in modern society, **and I have two reasons to support my opinion.** のように、I agree with the idea that ～ と、and I have two reasons to support my opinion. のひな型で書く方法もあります。

Main Body

ボディは序文で述べた自分の立場を、ポイント(2つ)を出しそれぞれサポートしなくてはなりません。まずは1つ目ですが、③・④は適切でしょうか。考えてみてください。③「大型店は十分な顧客サービスを提供できない。」④「例えば、何か機器の使い方トラブルがあった時に顧客の家まで行くようなサービスはできない。」のように述べられていますが、これはいかがですか。このように、「個人経営がこれからも生き残る」ことに賛成でサポートするのに、大型店の短所だけを述べて終わっているのは適切ではありません。この意見を書く前に、まずは「小型店の強み」を書くべきです。その方が読む相手にもわかりやすく、説得力があり得点も高くなるでしょう。添削例のように裏返して述べる場合は、必ずパラグラフの後半部分であくまで補足として述べることを忘れないようにしましょう。

小型店の長所としては、まずポイントとして **First, small shops can provide their customers with community-based service, which are tailored to the needs of local people.** (彼らは地域密着型のサービスが提供でき、顧客のニーズに応じたサービスが可能である。) と言えるでしょう。サポートとしては **Small, independent shops have close ties with their communities. Many of the shop owners are fully aware of their customers' needs and preferences.** (多くの小さい店は地域と密接なつながりがある。多くの経営者は顧客が求めるものや彼らの好みを正確にわかっている。)、 **Small, independent shops are more flexible in their customer service.** (個人経営店はカスタマーサービスでもっと柔軟な対応ができる。) などが挙げられます。

次に2つ目のポイントですが、こちらはどうぞ。⑤「小規模店は伝統技

術を保存するという重要な役割をする。」となっていますが、間接的で弱いので、**Most people highly value traditional skills handed down by small independent shops.** (ほとんどの人は小さな店によって受け継がれる伝統的な技術を高く評価している) とします。そしてサポートでは、⑦「たいいていの人は彼らが販売したり製造する製品の品質の高さや職人技の良さをよくわかっている。」、⑨「最近では、外国からの多くの観光客もまた、このような日本の伝統製品に引き付けられている。」と述べています。この場合の小規模なビジネスというのは伝統品などを地道に製造する中小企業などで、何世代にも受け継がれる地元産業の卓越した伝統技術は、品質の高い商品の生産を可能にし、大規模店舗には負けない魅力的な商品が競争力となり生き残っていけると考えられ、説得力のあるサポートとなっています。

それから、⑤で **would** を省いているのはどうしてなのでしょう。助動詞の適切な使い方はエッセイを書く際に最重要ポイントです。筆者の経験では、英検2級から次の準1級を目指す生徒さんに必要以上に **would** を使いたがる傾向が非常に強いという印象を受けます。英語でこのようなエッセイを書く場合に、例えば **would** のみならず他の **could** や **might** を使うと、ニュアンス的に「自分の意見にかなり自信のない印象」を与えてしまいます。⑤は **would** のままだと、意味は「世界遺産は、もしかすると伝統技術の保存に重要な役割をするかもしれないが、たぶんその確率はかなり低いだろう。」のような不確実で不安定なニュアンスが出てしまいます。このような意見をどう思いますか。エッセイで賛成か反対かの、どちらかの立場で文章を書いているのに、このような弱々しい意見というのは不適切です。さらに、英語的な発想ではこんな自信のない意見を書くくらいなら、もっと自信のある強いポイントは他にないのか? といった印象さえ与えることとなります。

⑧は **appreciate** に変更しています。**appreciate** には「感謝する」という意味のほかに「物事の良さがわかる・高く評価する」という意味もあり、このように伝統技術や品質の高さの価値を理解し、深く称賛するような状況にぴったりの表現です。

Conclusion

さて、最後の「結論」ですが、⑪のように会話的な **So**, で書き始めるのはお勧めできません。あくまでもエッセイ (ライティング) の締めくくりなので、

口語調は避けましょう。次のように、in conclusion を使って **In conclusion, for these two reasons,** I think that small, independent shops will survive in modern society. とすっきりまとめましょう。

それでは別の問題に進みます。

問題2 (英検準1級 2016年度第1回より)

- Write an essay on the given TOPIC.
- Use TWO of the POINTS below to support your answer.
- Structure: Introduction, main body, and conclusion
- Suggested length: 120~150 words

TOPIC

Agree or disagree:

The number of young people who live with their parents after they finish their education will increase in the future.

POINTS

- Convenience
- Cost of living
- Personal freedom
- Safety

- ① Different people have different ideas about whether or not the number of young people who live with their parents after they finish their education will increase in the future. ② Personally, I think that the number of those young people will increase for the following reasons.
- ③ To begin with, it is very convenient for young people to live with their parents.
- ④ ~~Almost~~ young people get very tired from work and can't do housework
→ **Most** after they come back home. ⑤ Under the circumstances, they think that

living with their parents greatly saves them the trouble to do household chores.

⑥ Secondly, it costs young people a lot money to live by themselves.
→ **Secondly, it will cost young people more money to live by themselves.**

⑦ Many young workers can't make enough salary to cover their living expenses.
→ **Fewer and fewer [an decreasing number of] young people will have enough salary to cover their living expenses.**

⑧ More young people will think that if they live with their parents, they can save a lot of money.

⑨ It is for these reasons that I think that the number of young people living with their parents will continue to increase in the future.

それでは、まずトピックを見て賛成か反対かを決めましょう。今回のトピック「将来、教育を終えた若者が親と同居する数が増加するか」については、昨今の時勢を把握しているならば、自分の意見というよりはまず一般論として「賛成」の立場で答えるのが圧倒的に多いのではないのでしょうか。それでは与えられた語句① Convenience ② Cost of living ③ Personal freedom ④ Safetyを見ていきましょう。

① **Convenience**

これはどうでしょうか。圧倒的に賛成側で使えますね。convenient（便利である）と形容詞に変えて使うことも可能です。「親と同居すれば、一人暮らしのように家事を全部しなくて済み、分担して行えるので非常に便利である。」のようなサポートが可能でしょう。

② **Cost of living**

こちらも賛成意見で、例えば「生活費（cost of living）が1人で暮らすと高

くつくので親との同居を好む。」「若いうちは給料が少ないので、家賃など多額の生活費を支払う余裕がない。」のように使用できるでしょう。

㉓ Personal freedom

こちらはいかがですか。これは反対側のポイントとして例えば、「親と同居すると彼らの自由が犠牲になる。」(**Living with parents can cost them their personal freedom.**)、「最近、人は個人の自由をもっと重視している。」(**People place much more emphasis on their personal freedom these days.**)のような意見が考えられます。また、賛成側として、一人暮らしをすると生活費が削られ好きなようにお金が使えなくなり、「個人の自由を謳歌できなくなる。」(**They can't enjoy their personal freedom.**)、だから「一人暮らしはあまりしたがる。」(**They are reluctant to live by themselves.**)のように使えます。

㉔ Safety

最後はどうですか。これは賛成側ですね。最近は凶悪な犯罪もかなり頻繁にメディアで報道され、若者に限らず多くの人が治安に大きな懸念を抱いています。よって、一人暮らしするよりは家族と住む方が安全である (**Living with their parents can enhance each others' safety.**)」が説得力のある意見となります。

いかがでしょうか。このようにトピックと与えられた語句を見て以上のような分析ができたなら、もうエッセイは半分書けたも同然です。では、添削例を見てみましょう。

Introduction

まず序文を見てみましょう。①・②はひな型を使って書かれていて模範的な序文です。別のひな型を使って、例えば以下のように

Nowadays, there is a growing tendency among young people toward living with their parents after they finish their education. I think that this trend will continue in the future for the following two reasons.

と書くこともできます。

Main Body

次にボディですが、トピックは「増えるか」と聞いているのに、一つ目の

理由は致命的ではありませんが、増えると予測を「示唆的に」述べているため、以下のように、「ダイレクトに」増えると言う方がベターです。

“Firstly, more and more [an increasing number of] young people will find it very convenient to live with their parents.”

④・⑤はどうですか。④で「ほとんどの若者は仕事で非常に疲れてしまい、帰宅した後に家事をすることができない。」と述べ、⑤で「親と一緒に住むと家事をする手間が省ける。」と書いており、サポートが成り立っています。もし、語数を増やすのであれば、以下のように書き直します。→ **If they live with their parents, they don't have to do housework. In this way, they can find more time to do things they like after work.** (もし親と同居したら、家事をする必要がない。このようにして彼らは、仕事の後に好きなことをする時間ができる。)

それから④の Almost のような間違いが非常に多いのですが、almost は副詞なのでこうして形容詞のように名詞に直接付けることはできません。この場合は Most young people とするか、もしくは Almost all young people に書き換えましょう。

次に2つめのポイントですが、この解答例は、「何故若者は親と住みたがるのか」の理由が書かれており、「今後増えるのか」という質問にピンポイントに答えていないため、添削例のように修正する必要があります。

ところで例文の⑥・⑦・⑧ですがポイントとなる文章が最初に来るべきなのですが、このまま⑥から始まっているのでしょうか。それぞれの意味を確認しましょう。⑥「若い人が一人暮らしをしたらもっとたくさんのお金がかかる。」、⑦「生活費をまかなう十分な収入を得る若者の数はますます減少している。」、⑧「もし親と一緒に住めば、たくさんのお金を節約できる。」。どうですか。気づきましたか。このままでは「典型的な日本語的発想のアプローチ」で、大事なことを後に述べてしまっています。英語の場合は、全くその逆で、一番先にポイントを述べなくてはなりません。

このパラグラフでの一番重要なポイントは「生活できない」という悲壮な状況を表す⑦で、⑥はその背景、そして⑧は追加情報なので、Secondly, a decreasing number of young people will have enough salary to cover their living expenses. It will cost them more money to live by themselves in the future. More young people will choose to live with their parents

to save money. とします。

Conclusion

結論は、⑨のようにひな型を決めて効率よくまとめましょう。もう1つのパターンを使って **In conclusion, for these reasons,** I think that the number of young people living with their parents will continue to increase in the future. と締めくくることができます。

さて皆さん、いかがでしたか。お疲れさまでした。以上でエッセイライティングトレーニングは終了です。この練習を通してライティングのコツが少しずつわかってきたでしょうか。しかしながら、一番重要なことは理屈ではなく、できるだけたくさん書いてみることです。まずは完璧な文章を書こうとする前に「英文を書く」という行為に慣れてください。ビジネスなどで使用する機会がよほどない限りは、特に国内にいるとその機会は少ないものです。書くこと自体に慣れるにはやはり場数をこなすしかありません。どんどん書いて、どんどん間違っ、そして添削指導などを受けると徐々に英文も良くなり自信もついてきます。失敗を恐れず、「何も書かないこと」の方を恐れてください。We believe in your potential. このままがんばり続けましょう！

Let's enjoy the process! (陽は必ず昇る！)

第5章 英検準1級リスニング問題スピード攻略法

Part 1 対話式リスニング問題の攻略法はこれだ！

パート1は他のパートと比べると難易度は低めで、受験者の多くは12問中7割程度を正解しています。苦手な人の対策としては、各種会話の教材で音声のあるものを用意し、**オーバーラッピング**や**シャドーイング**を繰り返し行うのがよいでしょう。**オーバーラッピング**とは、スクリプトを見ながら聞こえてきたものを真似て、音声からわずかに遅れて発声する練習です。文ごとに区切って音声を止めたりしません。最初から最後まで一気に流します。つまり、聞くことと話すことをほぼ同時にする、ということです。**シャドーイング**とは、オーバーラッピングと同じ要領でスクリプトを見ずに行う練習です。シャドーイングの方が難易度の高い練習になります。

慣れないうちはどちらもうまくできないものですが、練習を重ねるうちにできるようになり、モノログのアナウンスとは違った、パート1の出題形式である対話独特の**イントネーション**や**息づかい**まで体になじんでくる、といった効果が出てくるはずですが、より大きな効果を生むために軽視してはならないのは、しっかりと口を動かし、感情移入することです。対話形式の内容ですので、その人物になりきることが重要です。**声のピッチ**、**アクセント**、**イントネーション**や**音の連結・脱落**などをそっくり真似て体に染み込ませるつもりで日々練習に励んでください。これらを通じて、音声を用いずに行う音読練習で起こりがちな、「母語の干渉」により、我流の誤った発音を定着させてしまう、ということも避けられます。一旦、我流の誤った発音を身につけてしまうと、リスニングの妨げにもなり得ますので、**自分で正しい発音ができるこそ、その音が聞き取れるのだ**、と肝に銘じておきましょう。毎日、数カ月間集中訓練するだけでもリスニング力UPの効果が実感できるはずです。

パート1は点の稼ぎ所ですので、満点を狙うつもりで徹底的にトレーニングしておきましょう。

Part 1 対話式リスニング問題の質問パターンはこれだ！

対話式の質問パターンのうち、よく出題されるものを頻度順に述べると、以下の表のように「行動」「意見」「理由」「発見内容」「提案」がトップ5です。

Part 1 質問パターン分析

ランキング	質問パターン	主な表現
第1位	行動	<p>★ What will the woman (probably) do (about ~)?</p> <p>★ What do these people decide [agree] to do?</p> <p>★ What does the man need [want] to do?</p> <p>「行動予測」や「どんな行動を取ることに決まったか・合意したか」を問う問題が頻出！</p>
第2位	意見	<p>「コメント (say about ~)」 「考え (think about / of ~) ・ (What is ~'s opinion [complaint]?)」</p> <p>「暗示 (imply about ~)」 「感想 (feel about ~)」 「結論 (conclude about ~)」。</p> <p>研究者や大学教授などの「個人名」が出てきたら必ず問われる！</p>
第3位	理由	<p>★ Why is S concerned [upset, worried] about? (心配・懸念の理由を問う)</p> <p>★ Why is S annoyed [angry]?</p> <p>(怒っている・いら立っている理由を問う)</p> <p>イントネーションにも注意を払い感情をつかみながら話の流れを追いましょう。</p>
第4位	発見内容	<p>★ What do we learn from this conversation?</p> <p>(この会話から何がわかるか。)</p> <p>★ What do we learn about the man?</p> <p>(男性について何がわかるか。)</p>